

第18回 宇和島市・北宇和郡中学校新人総合体育大会

期 日 令和5年 9月 26日(火)
27日(水)

(雨天決行 一部順延)

会 場

大会本部	宇和島市立城北中学校
バレーボール	吉田町ふれあい運動公園
バスケットボール	宇和島市総合体育館
卓球	鬼北総合公園
ソフトテニス	津島プレーランド
軟式野球	丸山公園野球場
サッカー	丸山公園多目的グラウンド
柔道	宇和島市総合体育館
剣道	三間町国民体育館
テニス	三間町運動公園
相撲	県立宇和島東高等学校 津島分校

主 催

宇和島市教育委員会

松野町教育委員会

鬼北町教育委員会

宇和島市中学校体育連盟

北宇和郡学校体育会

大会テーマ

君の夢 羽ばたけ 愛媛の青空へ

表彰担当者・競技開始時刻

競技名	会場	表彰者	開場時刻	競技開始
バレーボール	吉田町ふれあい運動公園	水野 俊英 (松野)	9:00	10:00
バスケットボール	宇和島市総合体育館	新城 裕志 (吉田)	8:00	9:15
卓球	鬼北総合公園	利根 建樹 (三間)	7:45	9:20
ソフトテニス	津島プレーランド	富永 晴子 (日吉)	7:50	9:10
軟式野球	丸山公園野球場	行定 永 (広見)	8:00	9:30
サッカー	丸山公園多目的グラウンド	脇本 俊二 (城東)	8:00	9:30
柔道	宇和島市総合体育館	今井 純 (城北)	8:00	10:10
剣道	三間町国民体育館	宮本 洋二 (城南)	7:50	9:10
テニス	三間町運動公園	中村 惣一 (宇南)	7:50	8:40
相撲	県立宇和島東高等学校 津島分校	近藤 浩一 (津島)	8:30	10:00

※ 大会2日目の競技開始時刻

- 9:10 (ソフトテニス)
- 9:15 (バスケットボール女子)
- 9:20 (卓球)
- 9:30 (軟式野球)
- 10:00 (バレーボール女子)
- 11:00 (バスケットボール男子、サッカー)
- 12:00 (バレーボール男子)

大会規定

競技者・指導者・役員は、スポーツマンとしての態度で終始する。各競技責任者並びに審判長は本大会規定違反者に対しては厳重に注意しなければならない。はなはだしい場合には大会委員会で審議の上、競技資格を認めない。

1 競技に関するもの

- (1) 競技は全て県総体規定並びに本大会競技規定によって行う。
- (2) 競技者・指導者・応援者はフェアプレーの精神を貫き、相手の中傷するような言動、判定への不当な抗議等は厳に慎み、敵・味方の区別なく、さわやかな声援を送る。
- (3) バスケットボール男女、サッカー、バレーボール男子の決勝、軟式野球、バレーボール女子の準決勝以降の試合は翌日実施とする。
- (4) ソフトテニス個人、卓球個人の試合は翌日実施とする。

2 出場資格に関するもの

- (1) 団体競技 1団体1チーム
- (2) 個人競技
 - 卓球 1団体シングルス8名以内・ダブルス4ペア以内
 - ソフトテニス 1団体5ペア以内
 - 柔道 制限しない
 - 剣道 制限しない
 - 体操競技 制限しない
 - テニス 1団体シングルス12名以内・ダブルス6ペア以内
 - 相撲 制限しない
 - バドミントン 制限しない
- (3) 1人が2競技以上に出場することはできない。
- (4) 外部指導者(コーチ)は、以下の13競技に限り校長の承認を得てベンチ入りすることができる。なお外部指導者(コーチ)証を必ず付けることとする。テクニカル・アドバイザーも同様の扱いとする。

○ バレーボール	○ 軟式野球	○ 剣道	○ 相撲
○ バスケットボール	○ ソフトボール	○ 体操競技	○ バドミントン
○ 卓球	○ サッカー	○ テニス	○ ソフトテニス
○ 柔道			
- (5) 卓球・体操競技の2競技に限り、複数の学校における外部指導者(コーチ)として登録できる。ただし、複数の競技における外部指導者(コーチ)としては登録できない。
- (6) 当該校以外の中学校の校長・教職員(行政関係は除く)は、外部指導者(コーチ)としての資格を持たない。ただし、「体操競技」は、選手の安全確保を目的として、当該校以外の中学校に勤務する教職員を「テクニカル・アドバイザー」として登録できる。
- (7) けが・病気等で出場できなくなった選手については、校長の承認を得て、大会当日の監督会議で変更届を提出すれば、変更を認める。(団体・ソフトテニス個人・卓球ダブルス・テニスダブルスのみ可)
- (8) 2校以上の合同チームは、県中体連の合同チーム編成規程により大会への参加を認める。

3 開閉会式に関するもの

開閉会式は、行わない。ただし、表彰のみ行う。

4 県新人出場資格に関するもの

競技名	団体出場数	個人出場数
バレーボール	男子4チーム以上→2 4チーム未満→1 女子8チーム以上→2 8チーム未満→1	
バスケットボール	男女とも8チーム以上→2 8チーム未満→1	
卓球	男女とも6チーム以上→2 6チーム未満→1	団体1→S4・D2 団体2→S8・D4 団体3→S12・D6 団体4以上→S16・D8
ソフトテニス	男女とも7チーム以上→2 6チーム未満→1	団体1→4 団体2→8 団体3→12 団体4以上→個人16
軟式野球	7チーム以上→2 7チーム未満→1	
ソフトボール	5チーム以上→2 5チーム未満→1	
サッカー	6チーム以上→2 6チーム未満→1	
柔道	男子5チーム以上→3 5チーム未満→2 女子フリー	男子 3 (団体3以上→4) 女子 4 (団体4以上→団体数+1)
剣道	男女とも5チーム以上→2 5チーム未満→1	団体1→4 団体2→8 団体3→12 団体4以上→個人16
体操競技	全チーム	上位4 (団体出場がなければ上位8)
テニス	男女ともフリー	シングルス16 ダブルス8
相撲	フリー	フリー
バドミントン	2チーム	シングルス4・ダブルス4

※ 個人出場数にある「団体」とは、県新人出場団体数のことを示す。

5 表彰に関するもの

- (1) 団体競技1位には優勝杯と団体及び登録選手全員に賞状を授与する。2位には賞状を授与する。
- (2) 個人競技は、3位までの入賞者に賞状を授与する。

6 その他

- (1) 組合せ抽選は、第8回市郡中学校体育研修会において各校理事の責任抽選とする。
- (2) 競技責任者は大会終了後、大会結果を大会本部（城北中学校）まで報告する。
- (3) 団体競技の規定数は次のとおりとする。ただし、マネージャーは生徒に限る。

バレーボール【12+①】	バスケットボール【15+①】	卓球【8】
ソフトテニス【8】	軟式野球【20】	ソフトボール【18】
サッカー【18】	柔道男子【7】	柔道女子【4】
剣道【7】	体操競技【5】	テニス【10】
相撲【5】		※ ①……マネージャー

参加状況及び競技方法等

学校名 競技名	性	城	城	城	吉	三	津	宇	松	広	日	団体 合計	競技 方法	県 新人 枠
	別	東	南	北	田	間	島	南	野	見	吉			
バレーボール	男	○							○			2	決 勝	1
	女	○	○	合	合		○	○	○	○		7	予選リーグ→決勝トーナメント	1
バスケットボール	男	○		○		○	○					4	トーナメント	1
	女	○	○	○	○	○		○		○		7	トーナメント	1
卓 球	男	○	○	○	○	○	○	○		○		8	予選リーグ→決勝トーナメント	2
	女	○	○	○	○	○	○	○		○		8	予選リーグ→決勝トーナメント	2
ソフトテニス	男	○	○	○			○	○		○	○	7	予選リーグ→決勝トーナメント	2
	女	○	○	○	○		○	○	○	○	個	8	予選リーグ→決勝トーナメント	2
軟式野球	共	○	合1	○	○	合2	合1	○	○	合2		7	トーナメント	2
ソフトボール	女			○								1	認 定	1
サッカー	共	○	合	○				○		合		4	トーナメント	1
柔 道	男			個		○	○					2	決 勝	2
	女			○			○					2	決 勝	2
剣 道	男		○			○		○		○		4	リ ー グ	1
	女		○			個		○				2	決 勝	1
体 操 競 技	男			個								0		
	女											0		
テ ニ ス	男					○		個				1	認 定	1
	女					○		個				1	認 定	1
相 撲	男		○				○					2	決 勝	2
バドミントン	男											0		
	女									個		0		
団 体 合 計		10	11	11	6	9	10	10	4	9	1	77		

※ 合は、合同チーム 個は、個人のみ出場

※ 各校名の表記 城東・城南・城北・吉田・三間・津島・宇南・松野・広見・日吉

大会本部役員

名誉大会長	宇和島市教育委員会教育長	金瀬	聡
	松野町教育委員会教育長	三好	秀二
	鬼北町教育委員会教育長	行定	洋嗣
大会長	北宇和郡学校体育会長	水野	俊英
大会副会長	宇和島市中学校体育連盟会長	近藤	浩一
顧問	南予教育事務所長	藤原	泰幸
参 与	宇和島市中学校体育連盟副会長	利根	建樹
	宇和島市立城東中学校長	脇本	俊二
	宇和島市立城北中学校長	今井	純
	宇和島市立城南中学校長	宮本	洋二
	宇和島市立吉田中学校長	新城	裕志
	愛媛県立宇和島南中等教育学校長	中村	惣一
	鬼北町立広見中学校長	行定	永
	鬼北町立日吉中学校長	冨永	晴子
大会委員長	宇和島市中学校体育連盟理事長	佐伯	翔平
大会副委員長	北宇和郡学校体育会理事長	林	惇
大会委員	宇和島市中学校体育連盟理事	山西	秀樹
	宇和島市中学校体育連盟理事	武田	尚之
	宇和島市中学校体育連盟理事	八十島	洋平
	宇和島市中学校体育連盟理事	窪内	秀世
	宇和島市中学校体育連盟理事	井上	侑未
	宇和島市中学校体育連盟理事	脇本	健太郎
	北宇和郡学校体育会理事	柿本	弘樹
	北宇和郡学校体育会理事	長山	尚輝
	宇和島市中学校体育連盟会計	宮崎	つる乃

救護員及び救急指定病院

競技名	会場	救護員	救急指定病院
バレーボール	吉田町ふれあい運動公園	永井 佳奈恵 (松野)	市立宇和島病院 (25-1111)
バスケットボール	宇和島市総合体育館	安居 結花 (吉田)	
卓球	鬼北総合公園	日出山 佳代 (広見)	鎌野整形外科 (24-6611)
ソフトテニス	津島プレーランド	小川 妙 (城東)	宇和島徳洲会病院 (22-2811)
軟式野球	丸山公園野球場	伊井 さつき (城南)	溜尾整形外科病院 (52-3133)
サッカー	丸山公園多目的グラウンド	岡田 久美 (城北)	松崎クリニック (58-4828)
柔道	宇和島市総合体育館	安居 結花 (吉田)	市立津島病院 (32-2011)
剣道	三間町国民体育館	曾根 春菜 (三間)	町立北宇和病院 (45-1221)
テニス	三間町運動公園	宮部 美香 (宇南)	
相撲	県立宇和島東高等学校 津島分校	加洲 由花留 (津島)	

※ 救護員は、大会2日目も同じ会場を担当する。

バレーボール

- 競技責任者 清家 怜 (広 見)
- 会場責任者 木口 富惣 (吉 田)
- 審 判 長 木口 富惣 (吉 田)
- 審 判 員 山口 貴史 (宇 南) 堀内 秀嗣 (宇和島東高) 清家 祥 (宇和島東高)
清水 太一 (県バ協会) 山内 清久 (肱 川) 堀切 元生 (吉田高)
大村 祥夫 (県バ協会) 大村 英子 (県バ協会)
- 運 営 員 二宮 梨江 (城 東) 宮崎つる乃 (城 東) 加藤 達也 (津 島)
有友瑛里子 (松 野) 林 惇 (松 野) 三好 君人 (宇 南)
揚野 豪恭 (城 南) 市橋 明子 (城 北)

- 競技方法

男子は決勝のみ、女子は予選リーグと決勝トーナメントを行う。

- 競技規定

- 1 2023 年度 (公財) 日本バレーボール協会制定 6 人制競技規則及び競技要項に準ずる。
※ リベロプレーヤーについては、一般と同様の「リベロリプレースメント」ルールで行う。
(取り扱いの詳細は、県中体連ホームページに掲載する。)
- 2 ベンチに入れる者は、選手 12 名以内と監督・コーチ・マネージャー各 1 名 (マネージャーは生徒に限る。) とする。監督・コーチは、出場校 (チーム) の校長・教員・部活動指導員・地域スポーツ団体等 (地域クラブ活動) の代表 (指導) 者であり、引率者としての責任を負う。
コーチが外部指導者 (コーチ) の場合は、当該校の校長が認めた者で、外部指導者 (コーチ) 証を付けること。なお、地域スポーツ団体 (地域クラブ活動) は該当しない。
- 3 監督・コーチ・マネージャーは、必ず規定のマークを左胸部につけること。
- 4 監督・コーチの服装は、統一されたものが望ましい。(短パン、ランニングは不可)
- 5 試合設定時刻は、1 日目はプロトコール開始時刻、2 日目は試合開始時刻とする。
- 6 ネットの高さは、男子 2 m 30 c m、女子 2 m 15 c m とする。
- 7 ボールは 4 号球で、人工皮革・カラーボールを使用する。(男：ミカサ、女：モルテン)
- 8 公式練習は、毎試合ごとに行う。
- 9 登録選手及びチームスタッフの変更については、当該チームの第 1 試合プロトコール開始までに各会場の本部に連絡すること。
- 10 給水のためのタイムアウトを採用する。(取り扱いの詳細は、県中体連 H P に掲載する。)

組合せ

バレーボール男子 決勝 競技開始 2 日目 12:00

松野 (〓) 城東

バレーボール女子 予選リーグ 競技開始 1 日目 10:00

予選リーグ Aゾーン

	1城東	2城南	3宇南	4津島	勝	負	順位
1城東		(〓)	(〓)	(〓)			
2城南	(〓)		(〓)	(〓)			
3宇南	(〓)	(〓)		(〓)			
4津島	(〓)	(〓)	(〓)				

予選リーグ Bゾーン

	5吉田・城北	6松野	7広見	勝	負	順位
5吉田・城北		(〓)	(〓)			
6松野	(〓)		(〓)			
7広見	(〓)	(〓)				

1 日目試合順

	Aコート	Bコート
①	1城東 — 2城南	5吉田・城北 — 6松野
②	3宇南 — 4津島	7広見 — 5吉田・城北
③	1城東 — 3宇南	6松野 — 7広見
④	2城南 — 4津島	
⑤	1城東 — 4津島	2城南 — 3宇南

バレーボール女子 決勝トーナメント

準決勝(10:00)

A 1 位		(-)		B 2 位 ①
B 1 位		(-)		A 2 位 ②

決勝(14:00)

①勝者		(-)		②勝者
-----	--	-------	--	-----

バスケットボール

- 競技責任者 新田 智大 (城 東)
- 会場責任者 新田 智大 (城 東)
- 審判長 西田 裕充 (城 東)
- 審判員 清家 規晶 (南バ協) 佐竹 克哉 (南バ協) 入船 隆志 (南バ協)
永沢 直哉 (南バ協) 窪田 智弘 (南バ協) 大宿 陽 (南バ協)
工藤 峻 (愛 宕) 堀上 元貴 (城 川)
- 運営員 泉野 武憲 (南バ協) 仙波 洋人 (宇 南) 伊勢 千加 (広 見)
窪内 秀世 (三 間) 渡辺 庸介 (吉 田) 寺岡 博樹 (城 北)
佐伯 翔平 (城 南) 松崎 太一 (津 島) 森信 駿 (城 北)
松本 崇宏 (宇 南)

○ 競技方法 男子・女子ともに、トーナメントを行い、競技2日目に決勝を行う。

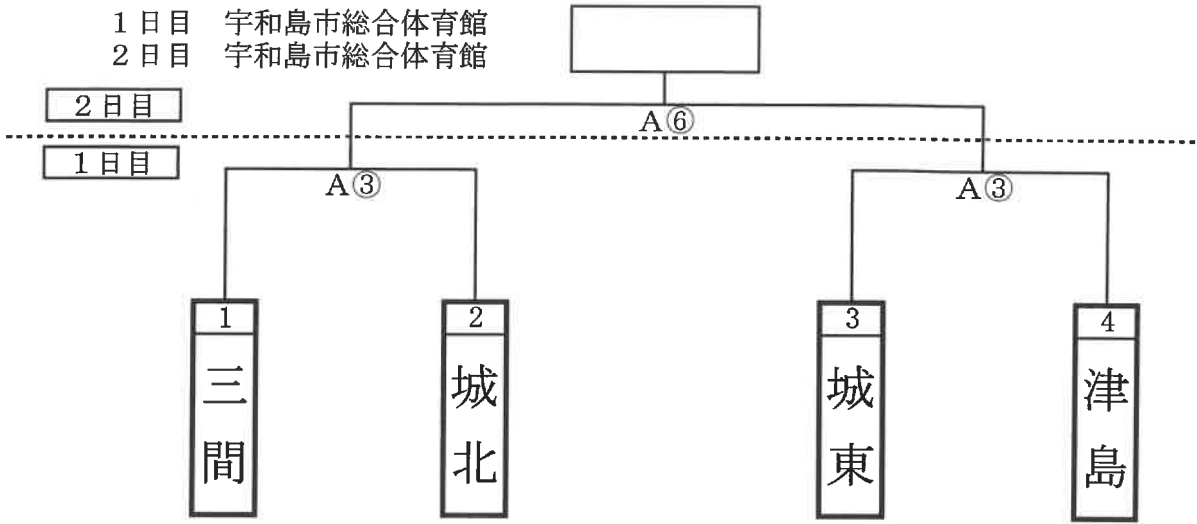
○ 競技規定

- 1 2023～(公財)日本バスケットボール協会競技規則による。
- 2 試合球は(公財)日本バスケットボール協会検定球、男子は7号・女子は6号皮革製とする。
- 3 ベンチは、組合せ番号の小さい方がオフィシャル席に向かって右側とする。
- 4 ユニフォームの色は、組合せ番号の小さい方が白色とする。
- 5 ベンチに入る者は、登録された選手15名と引率責任者・コーチ・アシスタントコーチ・マネージャーの計19名とする。
- 6 引率責任者は、出場校の校長・教員(非常勤は除く)・部活動指導員とする。
- 7 コーチ・アシスタントコーチは、校長の認めた者とする。外部指導者を1名おくことができ、試合中に証明書を確認できるようにしておく。外部指導者がベンチで指揮を執る場合は、参加申込書のコーチの欄に氏名を記入する。
- 8 マネージャーは、出場校の教員または生徒とする。
- 9 「マンツーマンディフェンスの基準規則」に則って運営する。
- 10 チームトレーナーが帯同する場合は、申込時に所定の「チームトレーナー申請書(校長承諾書)」を提出すること。

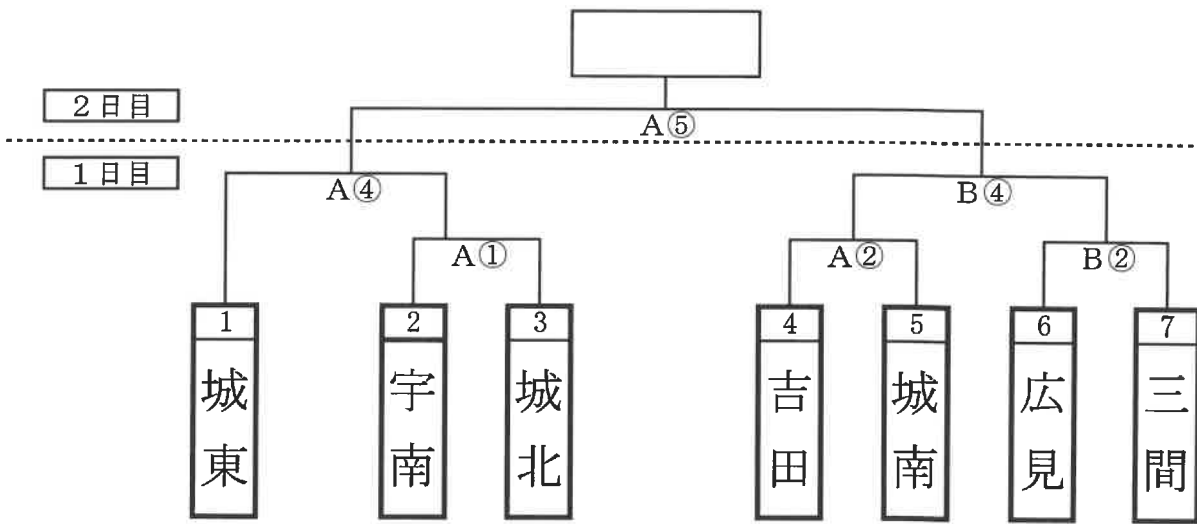
組合せ

バスケットボール (男子)

1日目 宇和島市総合体育館
2日目 宇和島市総合体育館



バスケットボール (女子)

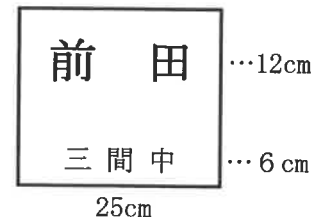


卓 球

- 競技責任者 前田 哲伸 (三 間)
- 会場責任者 堀田 貴之 (広 見)
- 審 判 長 脇坂 祐輔 (広 見)
- 運 営 員 岩下 摂 (城 東) グッドウィン奈 (城 東) 植野 晴貴 (広 見)
高松 紗依 (城 北) 飯田 修司 (城 北)
- 参加規定
 - 1 団体戦 選手6～8名以内、監督1名をもって編成登録する。なお、監督の他にコーチとして、1名のベンチ入りを認める。
 - 2 個人戦 シングルスとダブルスは、兼ねることができない。なお、アドバイザーとして、1名のベンチ入りを認める。ただし、学校部活動に関しては、監督または、当該校の教職員(部活動指導員含む)、校長の承認を得た外部指導者、生徒のいずれかとする。地域スポーツ団体に関しては、その団体の構成員とする。
- 競技方法
 - 1 団体戦は予選リーグ、決勝トーナメントとし、個人戦はトーナメントとする。
 - 2 1日目に団体戦を行い、2日目に個人戦を行う。
- 競技規定
 - 1 現行の(公財)日本卓球協会ルールを適用する。(全ての試合で、タイムアウト・促進ルールを適用する。)
 - 2 ユニフォームの背部に下記のゼッケンをつける。(同姓の場合は名を一字だけ加える。)
 - 3 オーダー用紙は、右側に自校のオーダーを記入し、対戦校同士で交換をする。
 - 4 大会使用球は、(公財)日本卓球協会公認ホワイト球(プラスチック)とする。
(VICTAS(VP40+)、Nittaku (PREMIUM CLEAN)、Butterfly(R40+))(40mm)
※ 本部ではNittaku (PREMIUM CLEAN)、Butterfly(R40+)を準備しているが、VICTAS(VP40+)の持ち込み可。ただし、1試合ごとに新球を使用すること。

- 競技上の注意事項

- 1 サービスは16cm以上投げ上げること。
- 2 試合中のタオル使用は、6本ごとのサービス交代時のみとする。
(最終ゲームは、どちらかが5ポイント先取した時もとれる。)
- 3 ゼッケンは、日本卓球協会のものも認める。
- 4 ツブ高ラバー及びラバーの接着等を含め、審判長の判断でラケット交換を要求することができる。
- 5 ラケットの両面にラバーを貼る場合、片方は黒、他方は片方の黒やボールの色とはっきり区別できる明るい色とする。(カラーラバー可)



組 合 せ

卓球 団体 (男子)

予選

Aゾーン		吉田	城北	広見	城東	勝敗	順位
1	吉田	/					
2	城北						
3	広見						
4	城東						
A 1	吉田	—	城北	A 2	広見	—	城東
A 3	吉田	—	広見	A 4	城北	—	城東
A 5	吉田	—	城東	A 6	城北	—	広見

Bゾーン		三間	津島	城南	宇南	勝敗	順位
1	三間	/					
2	津島						
3	城南						
4	宇南						
B 1	三間	—	津島	B 2	城南	—	宇南
B 3	三間	—	城南	B 4	津島	—	宇南
B 5	三間	—	宇南	B 6	津島	—	城南

決勝トーナメント



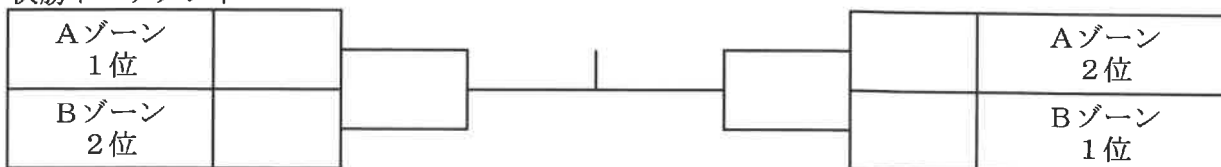
卓球 団体 (女子)

予選

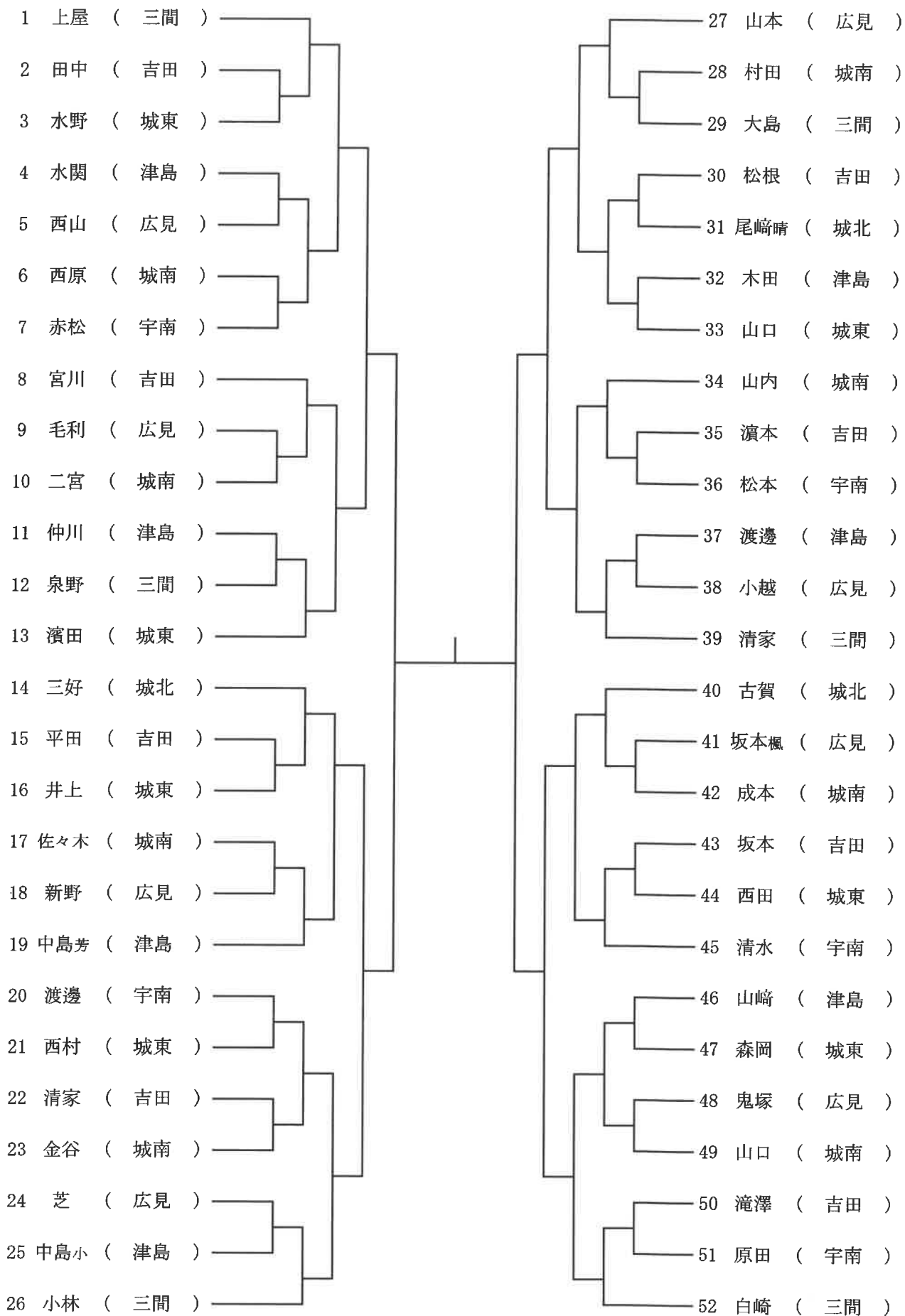
Aゾーン		吉田	城北	津島	城東	勝敗	順位
1	吉田	/					
2	城北						
3	津島						
4	城東						
A 1	吉田	—	城北	A 2	津島	—	城東
A 3	吉田	—	津島	A 4	城北	—	城東
A 5	吉田	—	城東	A 6	城北	—	津島

Bゾーン		三間	宇南	広見	城南	勝敗	順位
1	三間	/					
2	宇南						
3	広見						
4	城南						
B 1	三間	—	宇南	B 2	広見	—	城南
B 3	三間	—	広見	B 4	宇南	—	城南
B 5	三間	—	城南	B 6	宇南	—	広見

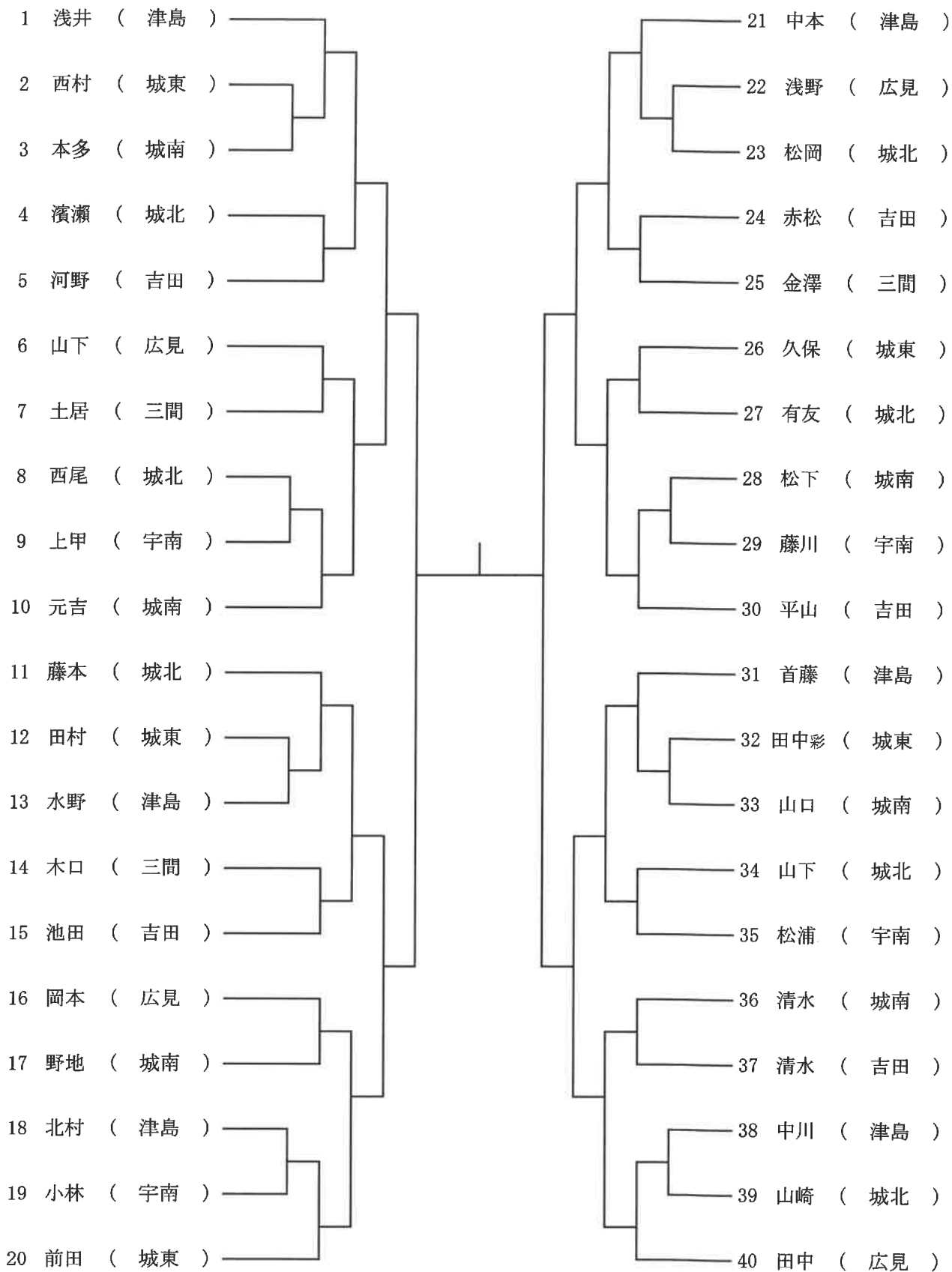
決勝トーナメント



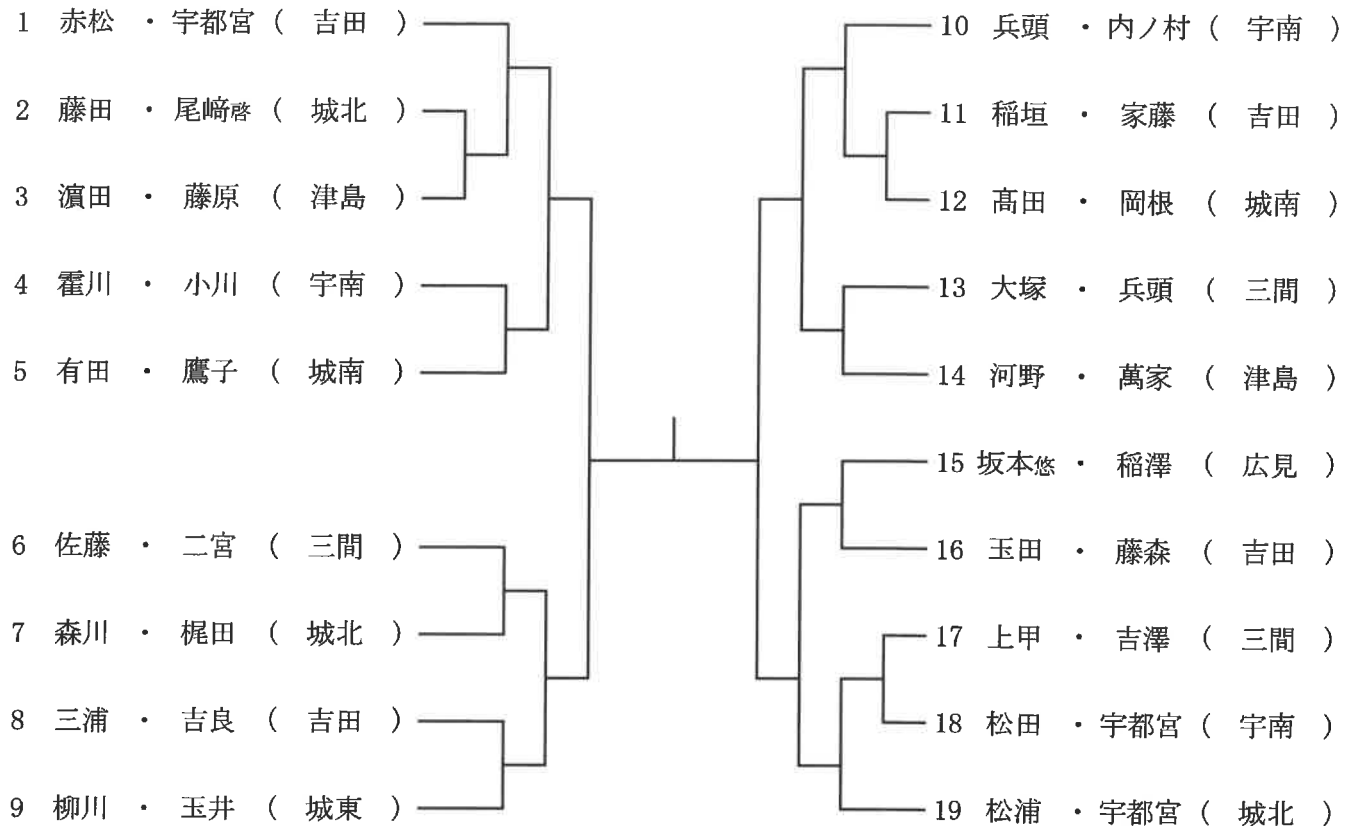
卓球 個人戦 シングル (男子)



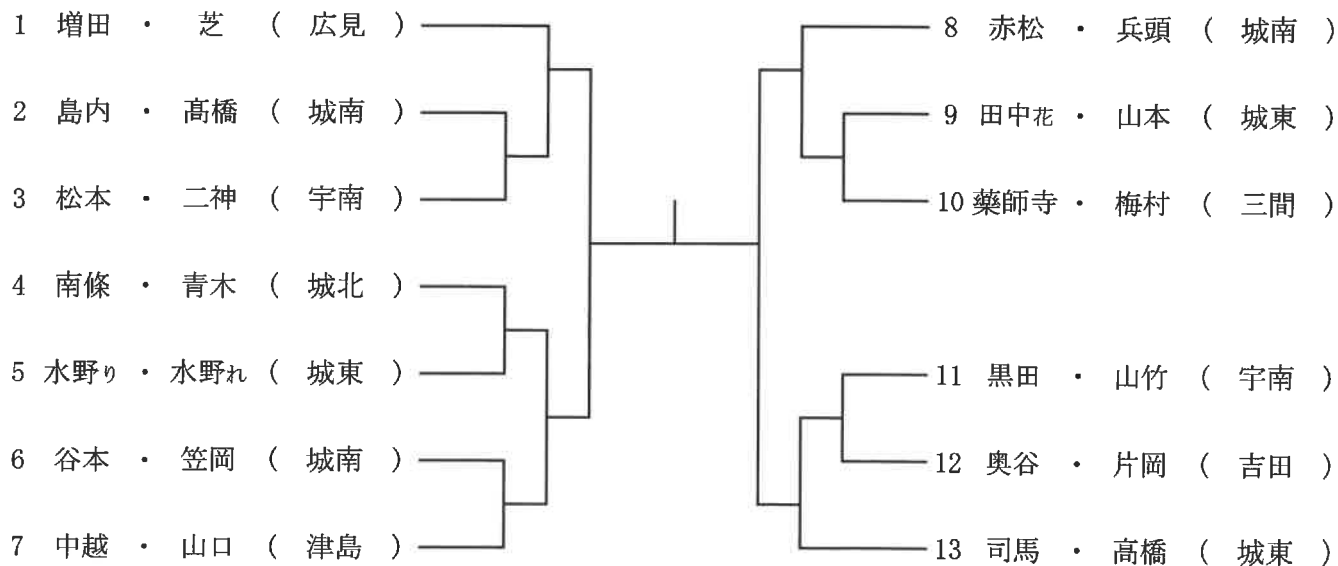
卓球 個人戦 シングルス (女子)



卓球 個人戦 ダブルス (男子)



卓球 個人戦 ダブルス (女子)



ソフトテニス

- 競技責任者 武智 裕之 (宇 南)
- 会場責任者 井上 晴賀 (津 島)
- 審 判 長 大嶋 真広 (城 東)
- 審 判 員 松浦 一 (城 東) 坂本 忠司 (城 北) 岡田 幸俊 (城 北)
毛利 和麻 (城 南) 岡田 魁 (城 南) 清家 純子 (宇 南)
井上 晴賀 (津 島) 木野下志麻 (津 島) 垣内 智善 (吉 田)
川添 真実 (松 野) 柿本 弘樹 (広 見) 水野 公貴 (広 見)
徳田 英樹 (日 吉) 井上 悠 (日 吉) 竹内 敏夫 (ソフトテニス)
野中 壘 (ソフトテニス) 武田 恭介 (ソフトテニス) 森 友紀 (ソフトテニス)

○ 参加規定

1. 団体戦は、同一校（同一クラブ）の選手4名以上8名以内と監督又はコーチ1名で構成する。
2. 個人戦は、同一校（同一クラブ）の選手2名と監督又はコーチ1名で構成する。

○ 競技方法

1. 団体戦は予選リーグののち決勝トーナメント、個人戦はトーナメント方式とし、試合は7ゲームマッチとする。
2. 団体戦において、4名（2ペア）で出場する場合は、第1、2対戦に出場し第3対戦を不戦敗とする。
3. 団体戦を1日目に、個人戦を2日目に実施する。

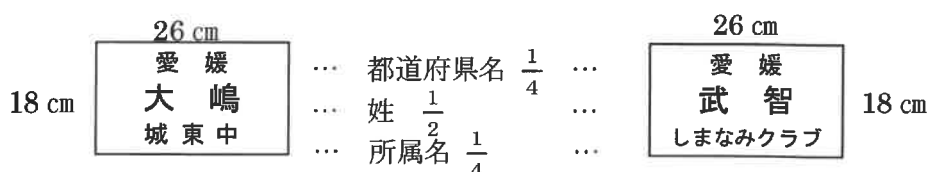
○ 競技規定

1. 現行の（公財）日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」および大会要項による。
2. 使用球はアカエム公認球（白色）とする。
3. ユニフォームは、上は半袖のスポーツシャツ（襟なし可）、下は膝より上のパンツ・スカートを着用すること。ただし、服装（用具を含めて）の色等は華美にならないようにする。シャツの裾を外に出したり、袖をまくることはしない。また、ユニフォームは文言や記号を後から記入もしくは印刷し使用してはいけない（学校指定の半袖・短パン体操服可）。
4. サポーター・テーピング、アンダーシャツ・アンダータイツを使用する場合は、白・黒・ベージュの単色とする
5. ハチマキ、帽子、サンバイザーには、正面に特別な文字や記号を記入もしくは印刷し、使用してはいけない。
6. 監督・選手ともテニスシューズを着用する。
7. 背中のゼッケンを各校（各クラブ）で別の布などで作成し、背中の中央に付けること。ただし、4隅を止めることとする。すでにプリントされている文字は隠すようにつけるものとする。
 - (1) ゼッケンは、B5判横（白地）の大きさの布に都道府県名、学校名（地域クラブ活動名）、

姓を記述する。都道府県名の「都府県」の文字は付けないものとする。

- (2) ゼッケンの文字は、「漢字」、「ひらがな」、「カタカナ」を使用し、文字の色は「黒」とする。シャツそのものへのプリントは認めない。
- (3) 都道府県内で同名の中学校がある場合には、区別をするために中学校名の表記の工夫をしてもよい。
- (4) 「地域スポーツ団体（地域クラブ活動）」の場合は、所属がわかるように表現する。
- (5) ゼッケンの文字の位置は下図どおりとし、同一校（同一地域クラブ）に同姓の選手がいる場合には、名前の一部も付け加える。
- (6) 下図のように（公財）日本ソフトテニス連盟で示されている三段とする。

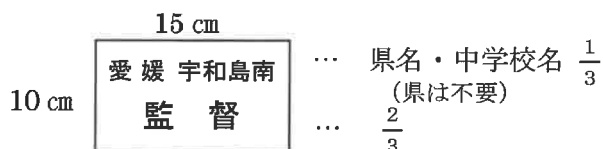
[選手のゼッケン]



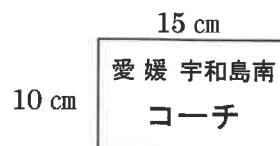
○ 競技上の注意事項

1. オーダーは試合ごとに2部作成し、1部を試合後に本部に提出する。
2. 個人戦の場合も監督・コーチ（教員・部活動指導員・外部指導者）はベンチに入ってもよい。
個人戦は、出場ペア数まで監督・コーチをおくことができる。コーチ（教員・部活動指導員・外部指導者）は、申込書に必ず明記しておくこと。
3. 監督・コーチは、スポーツウェア、テニスシューズを着用のこと。また、監督・コーチは左胸にゼッケンをつけること。（文字、生地の色は特に指定しない。）外部指導者は中体連が定める外部指導者証も所持すること。
4. ベンチ外からのコーチは禁止する。（イエローカードの提示の対象とする。）
5. 外部指導者（コーチ）がベンチに入る場合は、監督は必ずコート周辺に待機すること。

[監督のゼッケン]



[コーチのゼッケン]



組合せ

ソフトテニス 団体 (男子)

Aゾーン		城南	城北	広見	津島	勝敗	順位
A	城南					—	
B	城北					—	
C	広見					—	
D	津島					—	

A 1	城南	—	城北	A 2	広見	—	津島
A 3	城南	—	広見	A 4	城北	—	津島
A 5	城北	—	広見	A 6	城南	—	津島

Bゾーン		城東	宇南	日吉	勝敗	順位
E	城東				—	
F	宇南				—	
G	日吉				—	

B 1	城東	—	宇南
B 2	宇南	—	日吉
B 3	城東	—	日吉

決勝トーナメント

Aゾーン

1位

Bゾーン

2位



Aゾーン

2位

Bゾーン

1位

ソフトテニス 団体 (女子)

Aゾーン		宇南	津島	城南	松野	勝敗	順位
A	宇南					—	
B	津島					—	
C	城南					—	
D	松野					—	

A 1	宇南	—	津島	A 2	城南	—	松野
A 3	宇南	—	城南	A 4	津島	—	松野
A 5	津島	—	城南	A 6	宇南	—	松野

Bゾーン		城北	吉田	広見	城東	勝敗	順位
F	城北					—	
G	吉田					—	
H	広見					—	
I	城東					—	

B 1	城北	—	吉田	B 2	広見	—	城東
B 3	城北	—	広見	B 4	吉田	—	城東
B 5	吉田	—	広見	B 6	城北	—	城東

決勝トーナメント

Aゾーン

1位

Bゾーン

2位



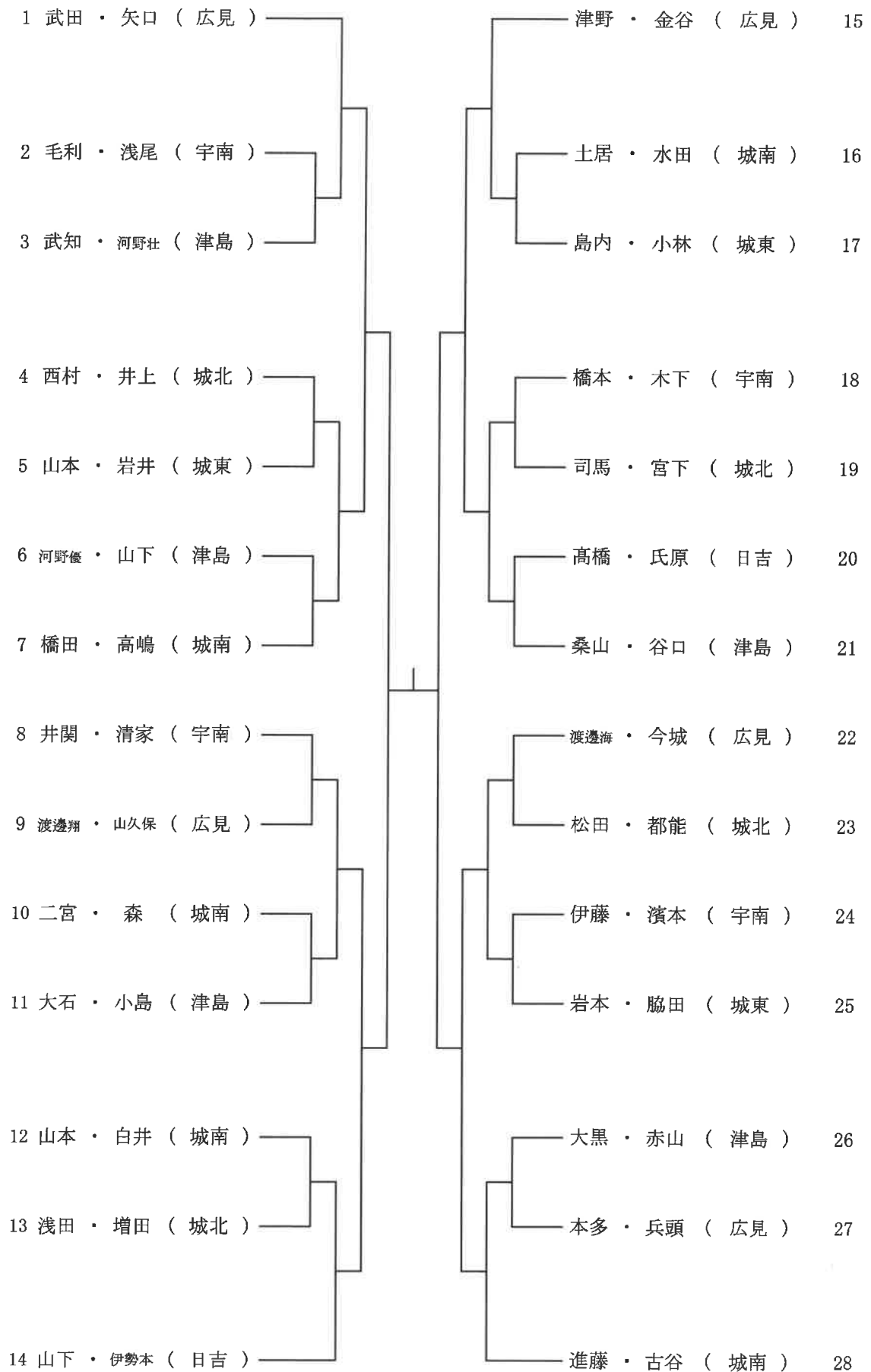
Aゾーン

2位

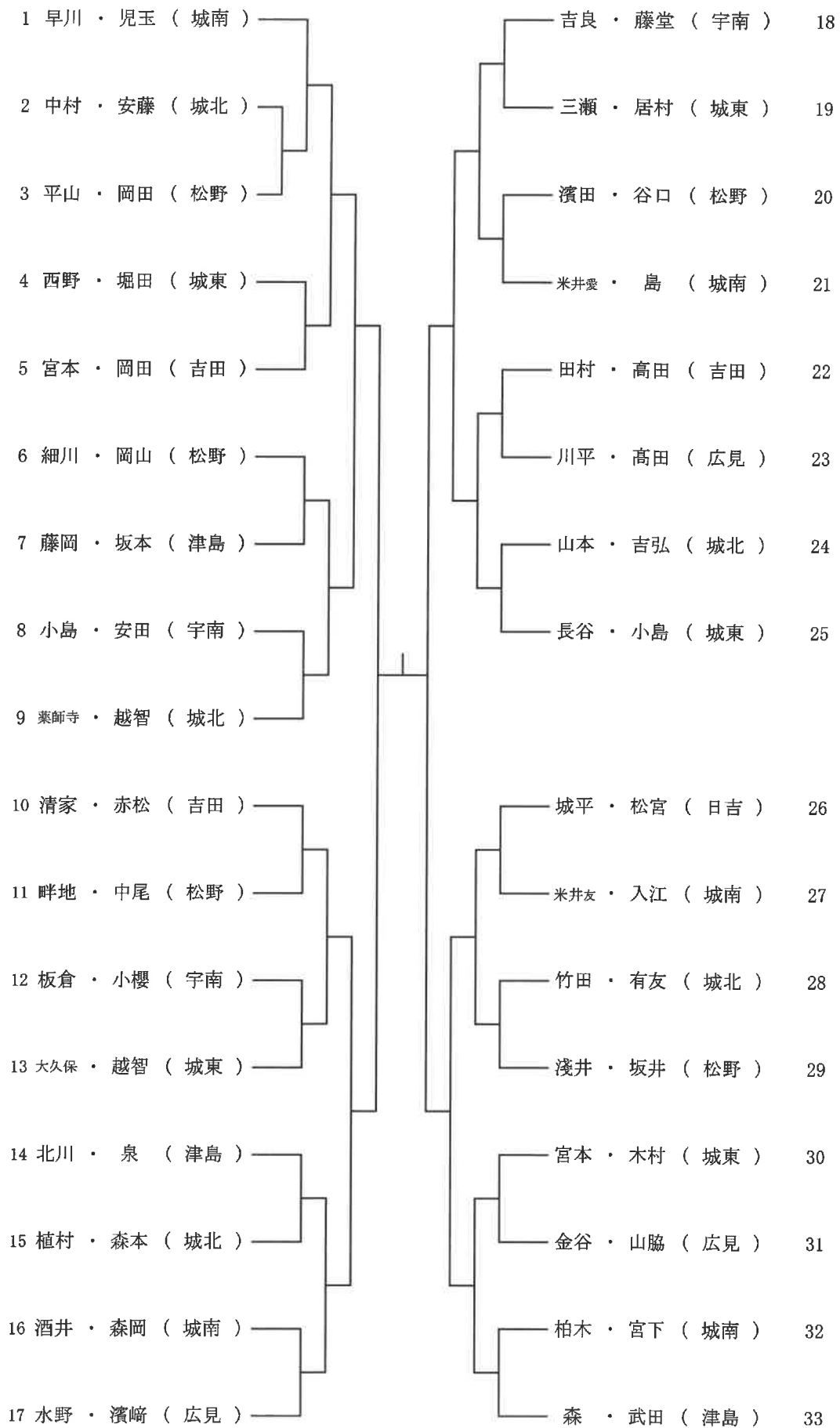
Bゾーン

1位

ソフトテニス 個人 (男子)



ソフトテニス 個人 (女子)



軟式野球

- 競技責任者 吉川 晋 (津 島)
- 会場責任者 薬師寺 晃 (城 東)
- 審判長 山口 功一 (宇 南)
- 審判員 渡辺 卓一 (宇軟野連) 清家 康太 (宇軟野連) 中井 辰徳 (宇軟野連)
松崎 陽介 (宇軟野連) 平野 悦史 (宇軟野連) 二神 崇雄 (宇軟野連)
山村 司 (宇軟野連) 田中 良夫 (宇軟野連) 仲川 元雄 (宇軟野連)
渡邊 卓 (城 北)
- 運営員 宮本 映 (城 東) 山西 秀樹 (城 北) 竹葉 弘一 (城 南)
大内 崇広 (三 間) 有馬 伸貴 (吉 田) 得能 寛太 (広 見)
岡田 凌 (松 野) 藤岡 周平 (宇 南)

○ 競技方法

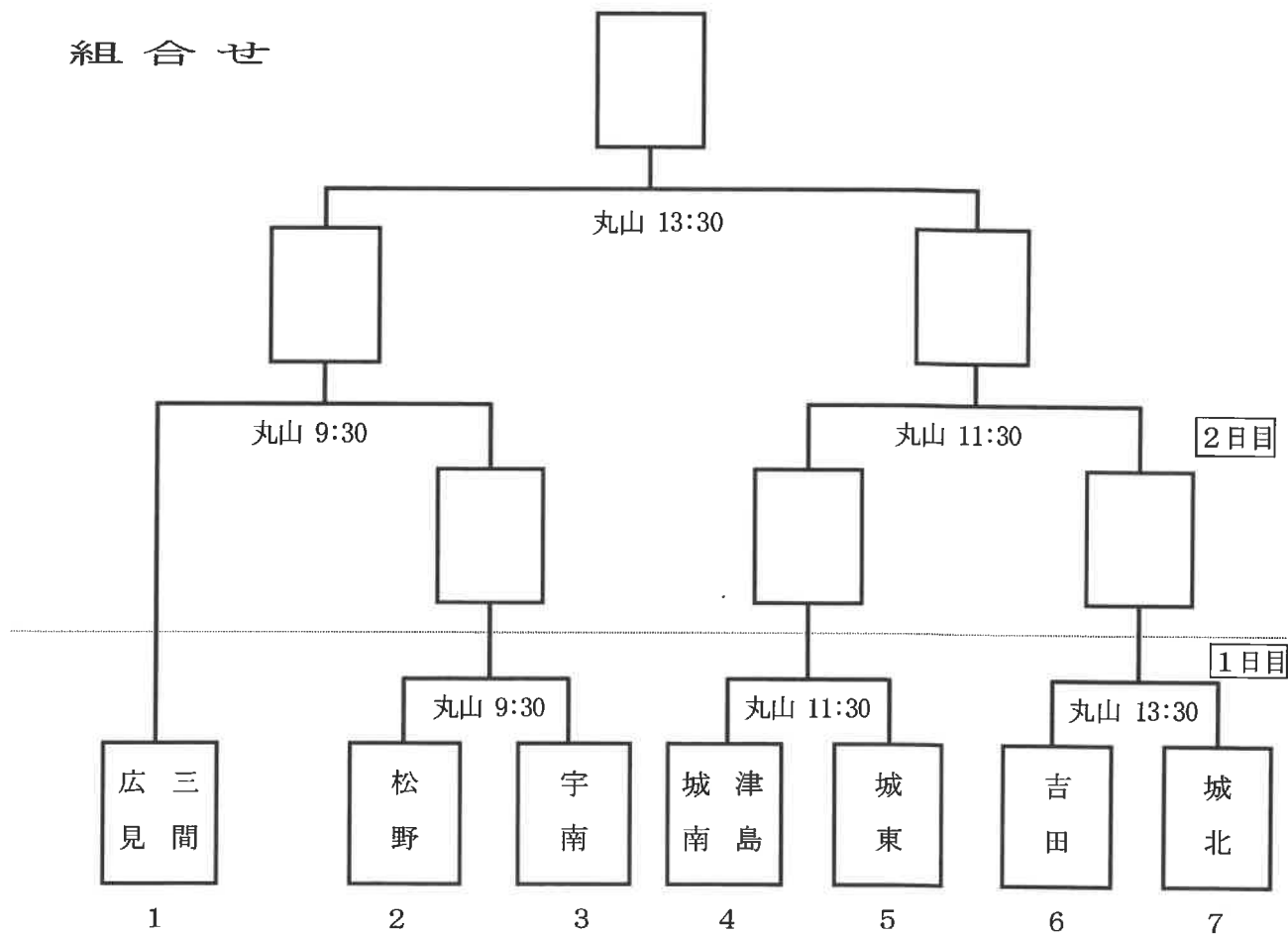
- 1 トーナメント方式とし、各試合は7回戦とする。
- 2 5回以降7点差でコールドゲームを適用する。
- 3 延長戦は8回から特別延長戦を行う。

○ 競技規定

- 1 当該年度公認規則及び大会特別規程による。投手の投球制限は、1日100球とする。但し、試合中に100球に到達した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
- 2 1チームの編成は、監督（引率責任者）1名、選手20名以内（スコアラーを含む）とする。また、この他に教員を2名追加することができる。監督は出場校の教員・部活動指導員とする。外部指導者（コーチ）が入る場合は1名とし、出場校の校長が認めコーチ証を所持した者とする。
- 3 ユニフォーム、アンダーシャツは各校同一のものを使用し（一番上から11cmの位置に）、背番号を付ける（背番号は、選手は1から20番、監督は30番、コーチは29、28番とする）。監督・外部指導者（コーチ）は、原則として選手と同一のユニフォーム・スパイクを着用する。サングラスは使用しない。引率教員は平服でもよいが、平服の場合はグラウンドには入れない。スパイクについては白色との併用を可能とする。
- 4 第1試合のメンバー用紙交換及び攻守決定は、試合開始40分前とする。第2試合以降は前試合の4回終了時とする。各チームの監督と主将は、メンバー表を4部持って、打ち合わせをする。
- 5 シートノックは、後攻側より始め、通告時より7分以内とする（運営上、短縮・省略することもある）。また、試合前の練習及びノックは登録選手以外に3名の補助員をつけることができる。マウンドでの投球練習は認めない。ノッカーは、選手と同一のユニフォーム・スパイクを着用する。相手チームのシートノック中は、ベンチから出ない。終了2分前からベンチ前での準備は認める。
- 6 暗黒・降雨などで試合が途中で中止になった場合、翌日の第1試合に先立って特別継続試合を行う。投手の投球数は前日の投球数を引き継ぐ。
- 7 攻守交代は全力疾走で行い、先頭打者とベースコーチは、ミーティングに参加せず、所定の位置につく。投手、またはプレートに最も近い野手が球を投手板近くに置く。
- 8 試合中の球場内では、次打者以外は素振りなどをしてはいけない。
- 9 イニング間の準備時間、控え選手は声を出すためにベンチから出ることはしない。
- 10 選手交代の申し出は、監督が行う。コーチは、試合前のノック時以外は、ベンチから出ない。
- 11 メガホンの使用は、監督のみとする。
- 12 審判員に対して規則適用上の疑義については、当事者と監督が直接、質問できる。
- 13 危険防止のため、次のことを徹底する。
 - ① バットリング、鉄棒等の球場への持込を禁止する。
 - ② 足を上げてのスライディングは禁止し、現実には妨害になった場合は走者をアウトとする。

- ③ 捕手のレガース・プロテクター・ヘルメット・スロートガード・ファウルカップと（捕手・予備捕手は安全のためマスクをかぶる）、打者と走者及び、シートノック時にノッカーにボールを渡す選手の両耳付きヘルメットは必ず着用する。ベースコーチとバットボーイは危険防止のためにヘルメットを着用する。また、リストバンド及びハイカットストッキング、ユニフォームのロングズボン禁止する。
- ④ 捕手は、ボールを持たないでベースパスの範囲に足を置くことができない。ボールを捕球する動きの中でベースパス内に足を踏み入れることは違反ではない。
- ⑤ 捕手がボールを保持し、ベースパス内で膝をつく姿勢は、走者の走路を妨害したとしてオブストラクションが宣告される。ただし、送球がショートバウンドとなり膝をついた状態で捕球し、そのままタッグプレーとなった場合は、捕球する中の動きであり違反ではない。
- 14 投手を含む野手3人以上が、一試合に投手の所に集まれる回数を3度以内とする。なお、延長戦は2回に一度行くことができる。監督が、同一回に同一投手のところへ二度目に行くか、行ったとみなされた場合は、投手を交代しなければならない。
- 15 申告敬遠をする場合は、監督がタイムをかけてから行う。
- 16 応援は、紙吹雪・テープ・個人名の書いたのぼり等の応援を禁止する。また、相手チームに不利を招くような応援（やじ等）やゲームを妨害するような応援をしない。
- 17 選手の頭髪や身なりは、中学生らしくあること。試合中・前後でのマナーを十分に考慮する。
- 18 選手のテーピングは、肌色に近いものを用い、投手は投球に影響を与えるものは使用できない。
- 19 本塁打を打った打者に握手等を求めるために、グラウンドには出てはいけない。
- 20 ベースコーチは、打者が打つまでは、打者より一番遠い枠内の位置にいる。

組 合 せ



- ※ ベンチは抽選番号の若い方を1塁側とする。
- ※ 試合開始時刻は、進行状況によって多少の前後がある。
なお、決勝戦は30分程度時間をおいて試合開始とする。

サ ッ カ ー

- 競技責任者 脇本 健太郎 (宇南)
- 会場責任者 武田 尚之 (城東)
- 審判長 保坂 遥平 (広見)
- 審判員
 - 脇本 健太郎 (宇南) 木下 翔太郎 (城北) 米田 実樹 (城南)
 - 武田 尚之 (城東) 赤松 弘教 (市川協)
 - 伊原 達也 (市川協) 伊藤 春好 (市川協) 横田 幸治 (市川協)
 - 大塚 隆三 (市川協) 田中 裕之 (市川協) 佐々木 泰洲 (市川協)
 - 渡辺 達也 (市川協)

- 競技方法

1. トーナメント方式とする。
2. 試合時間は60分(30分ハーフ)とする。勝敗が決しないときは、10分間(5分ハーフ)の延長戦を実施し、なお決しないときには再度、10分間(5分ハーフ)の延長戦を実施する。それでもなお決しないときにはPK方式により勝敗を決定する。
3. 飲水タイムもしくはクーリング・ブレイクを設けることがある。

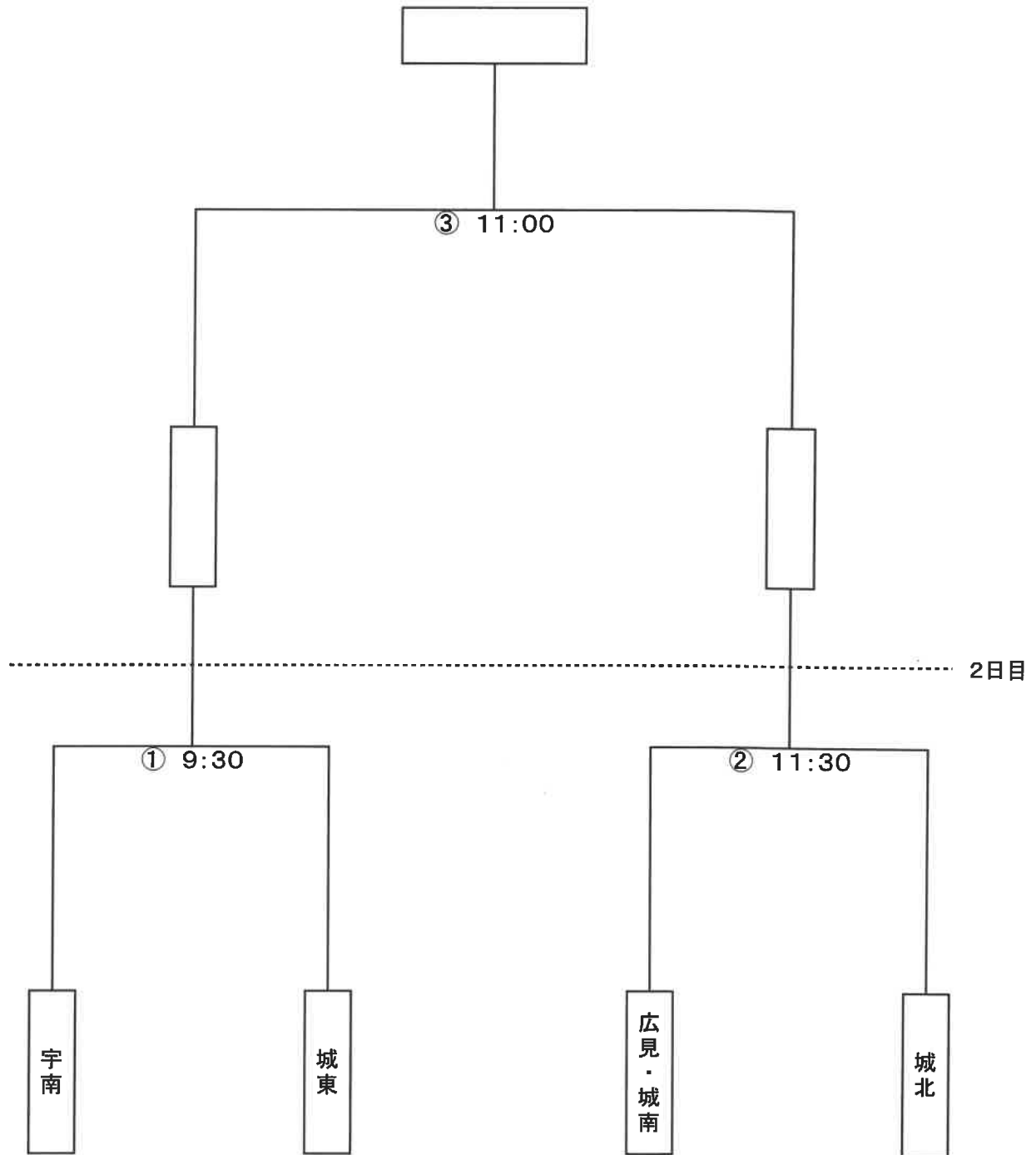
- 競技規定

1. 2023年度(公財)日本サッカー協会の「サッカー競技規則」による。
2. 選手登録は18名以内とし、競技開始前に登録した最大7名の交代要員の中から、7名までの交代が認められ、1度退いた競技者は再び出場することができない。ただし、交代の手続きは従来通りサッカー競技規則第3条に則って行う。
3. 試合球は公認球(5号)とし、競技規則第2条に適合するものとする。
4. 本大会において退場を命じられた選手は次の1試合に出場できず、違反行為の内容によっては競技責任者、審判長、審判員でそれ以降の措置について決定する。
5. 本大会期間中、警告を2回受けた選手は次の1試合に出場できない。
6. 各チームは監督1名、選手18名に加え、引率者1名、コーチ1名(すべて監督が兼ねることができる)、校長のうち2名までがベンチ入りすることができる。
7. 今大会の優勝チームは、次年度に行われる市郡総体で第1シードとする。

- 競技規定

1. ユニフォームは必ず1着以上を持参すること。(2着以上が好ましい。)背番号は1番から99番までとする。
2. 審判員と同一または類似色のみのユニフォームのシャツを用いることはできない。ゴールキーパーについても同様である。
3. 雷発生の危険性が高い場合は、直ちに試合を中止し、その後の処置については大会本部もしくは大会役員で決定する。

組合せ



柔 道

- 競技責任者 岡田 真帆 (城 北)
- 会場責任者 末光 展也 (津 島)
- 審 判 長 岡田 真帆 (城 北)
- 審 判 員 梶谷 啓介 (城 南) 山下 孝文 (宇和島東高) 河辺 泰司 (鬼城柔)
- 梶原 純 (吉田柔) 毛利 武志 (広 見) 福島 亮 (津島柔)
- 運 営 員 武田 慶子 (三 間) 末光 展也 (津 島)
- 救 護 細田 英樹
- 競技方法

1 団体戦

- (1) 男女ともリーグ方式とする。
- (2) 男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。
- (3) チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。
- (4) 試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- (5) 勝敗の判定基準は、「一本」、「技あり」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。
- (6) 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」 = 「反則勝ち」 > 「技あり」 > 「僅差」

- (7) チーム間の内容が同等の場合は引き分けとする。また、順位は次の方法によって決定する。
 - ① チーム間における勝ち数による。
 - ② ①において同等の場合は、内容により決定する。
 - ③ ②において同等の場合は、1名による代表選により決定する。
- (8) 代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差が無い場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。

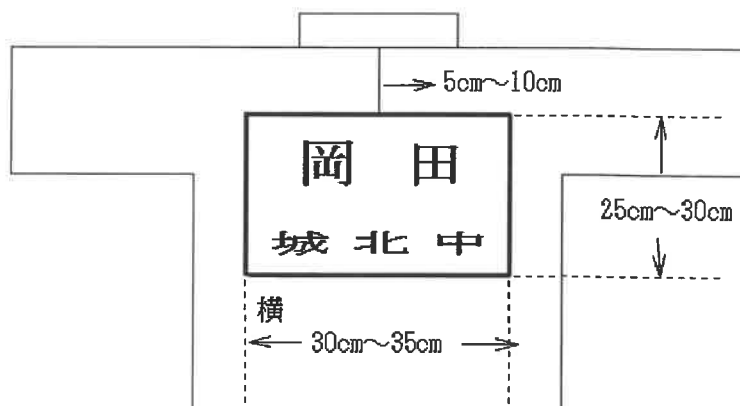
2 個人戦

- (1) 男女とも出場者が4名以内の階級はリーグ方式、5名以上の階級はトーナメント方式とする。
- (2) 試合時間は3分間とし、延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- (3) 勝敗の判定基準は、「一本」、「技あり」、又は「僅差(『指導』の差2)」とする。得点差が無い場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦(ゴールデンスコア)で新たに指導差がついた時点で勝敗が決する。
- (4) 両者反則負けの場合は、次の試合に進めない。
- (5) 体重区分は次の通りとする。
 - ① 男子 50 kg級 (50 kg以下) 55 kg級 (50 kg超～55 kg以下)
 - 60 kg級 (55 kg超～60 kg以下) 66 kg級 (60 kg超～66 kg以下)
 - 73 kg級 (66 kg超～73 kg以下) 81 kg級 (73 kg超～81 kg以下)
 - 90 kg級 (81 kg超～90 kg以下) 90 kg超級 (90 kg超)
 - ② 女子 40 kg級 (40 kg以下) 44 kg級 (40 kg超～44 kg以下)
 - 48 kg級 (44 kg超～48 kg以下) 52 kg級 (48 kg超～52 kg以下)
 - 57 kg級 (52 kg超～57 kg以下) 63 kg級 (57 kg超～63 kg以下)
 - 70 kg級 (63 kg超～70 kg以下) 70 kg超級 (70 kg超)

○ 競技規定

- 1 国際柔道連盟試合審判規定(2022年4月1日より施行の改正ルール)及び国内における「少年大会特別規定」による。
- 2 柔道衣は白色とする。
- 3 (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は男女とも黒帯を用いること。
- 4 現行の(公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること(新規格の赤色のマーキングのもの)。
- 5 柔道衣に必ずゼッケン(学校名・名字入り)を縫い付けて出場すること。
 - (1) 布地は白(晒、太綾)とする。
 - (2) サイズは横30~35cm、縦25~30cmとする。
 - (3) 名字(姓)は上側2/3、学校名は下側1/3とする。
 - (4) 書体は太字ゴシック体とする(明朝または楷書でもよい)。
 - (5) 文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
 - (6) 縫い付け場所は襟から5cm~10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

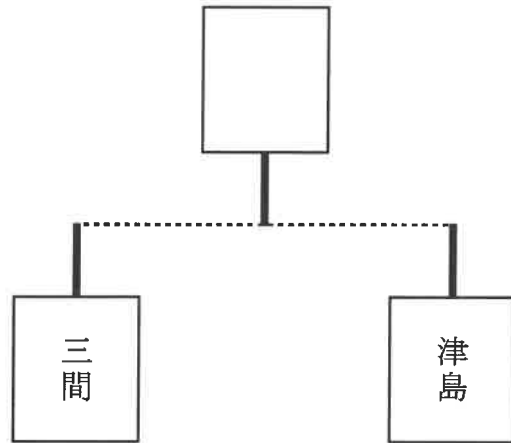
〈 例 〉



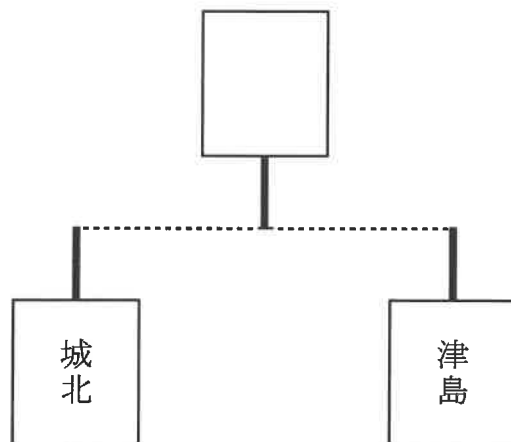
- 6 女子は上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。
※ Tシャツのマーキングについては、(公財)全日本柔道連盟が定める規程(平成25年4月1日より施行)に準ずる。
- 7 柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。
- 8 体重に増減があった場合、失格とする。但し、女子はTシャツ・下ばきで1kgオーバーまで認める。
- 9 皮膚真菌症(トングランズ感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手の皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができないこともある。
- 10 脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守する。
 - (1) 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - (2) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする(なお至急専門医の精査を受けること)。
 - (3) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - (4) 当該選手の指導者は、大会事務局及び(公財)全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- 11 いわゆる「絞め落ち」となった選手は、その後の一連の試合に出場することはできない。ただし、団体戦と個人戦は、一連の試合とは見なさない。
- 12 初心者が試合に出場するまでの期間は、練習開始から少なくとも6ヶ月経過後とする。

組合せ

柔道団体（男子）



柔道団体（女子）



柔道個人（男子）

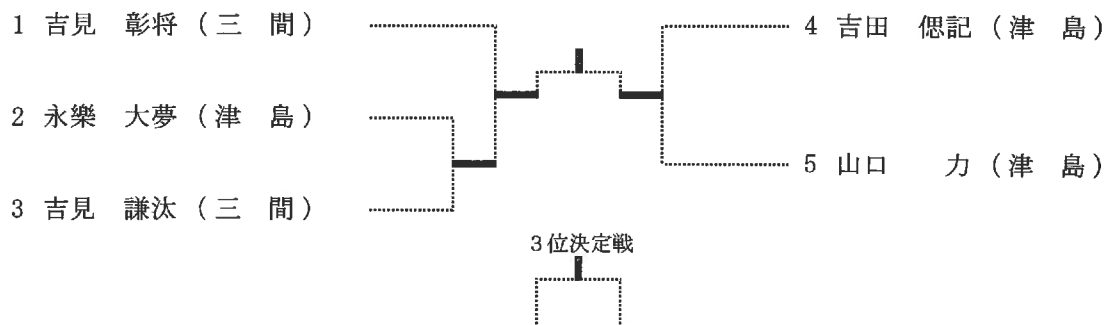
男子50kg級

				勝	負	順位
1 和泉 愛也（城北）						
2 小西 昊（三間）						
3 吉田 卓司（城北）						

男子55kg級

				勝	負	順位
1 梅村 珀（三間）						
2 牧野 好裕（津島）						
3 橋本 凰希（津島）						

男子60kg級

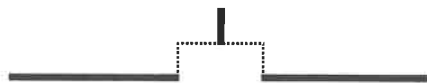


男子90kg級



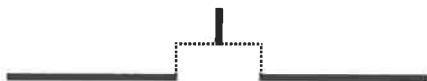
柔道個人（女子）
女子40kg級

1 大竹 紗生（城北）



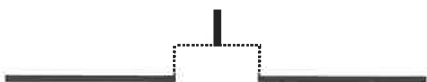
女子52kg級

1 森本 愛姫（津島）



女子63kg級

1 山下 歩実（津島）



女子70kg超級

1 山下 珠愛（城北）



剣 道

- 競技責任者 増田 智之 (城 東)
- 会場責任者 酒井 孝夫 (三 間)
- 審 判 長 酒井 孝夫 (三 間)
- 審 判 員 古谷 龍夫 (鬼北剣) 池田 公志 (学剣連) 三木千恵美 (宇和島剣) 菊池 新八 (宇和島剣)
高田 賢三 (鬼北剣) 桐山 浩之 (宇 南) 五島 卓也 (宇和島剣) 大瀧 康孝 (鬼北剣)
渡邊 浩明 (三間剣) 清水 友和 (宇和島剣) 酒井 良泰 (宇和島剣) 山崎 美和 (三間剣)
玉井 一隆 (宇和島剣)
- 運 営 員 工藤 洋志 (宇 南) 山岡 妙 (城 南) 新城 采音 (広 見)
- 救 護 員 曾根 春菜 (三 間)
- 競技方法

団体戦は、男子はリーグ戦、女子は決勝戦を行い、順位を決定する。
個人戦はトーナメント戦を行い、3位決定戦を行う。

○ 競技規定

1 全日本剣道連盟の「剣道試合・審判規則及び細則」、及び暫定的な試合・審判法、日本中体連剣道競技部申し合わせ事項によって行う。

2 団体戦

(1) 3名以上で出場可。ただし、3名の場合は先鋒・中堅・大将の位置で行う。4名の場所は、先鋒・中堅・副将・大将の位置で行う。

当日、団体戦の正員の中で、怪我等で出場できなかつたり、欠席したりする可能性がある選手がいる場合は次鋒と副将に入れること。(出場できない可能性のある選手が1名の場合は次鋒に、2名の場合は次鋒と副将に入れること。)

(2) 3分間3本勝負とする。ただし、勝敗が決しない場合は引き分けとする。

(3) 勝敗は勝者数による。勝者数が同じ場合は、勝本数の多い方を勝ちとする。

ア トーナメント戦で同数の場合は、3分間1本勝負の代表者戦を行う。時間内に勝負が決しない場合は、2分ごとの延長戦を、勝敗の決するまで行う。

イ リーグ戦で同数の場合は、引き分けとする。ただし順位を決定する際には、3分間1本勝負の代表者戦を行う。時間内に勝負が決しない場合は、2分ごとの延長戦を、勝敗の決するまで行う。

(4) 登録選手として申し込みのない者は、正員の位置に入れることはできない。

(5) オーダーは申し込み後変更を認めない。

(6) 団体戦では、補員と交代した者は再び選手として出場できない。

3 個人戦

(1) 選手の出場制限はない。

(2) 3分間3本勝負とする。勝敗が決しない場合は、2分ごとの延長戦を勝敗の決するまで行う。

4 延長戦における休息等は以下の通りとする。

試合時間3分 ⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 【小休止(深呼吸をする程度)】

⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 【面を外しての休息・給水(3分)】

⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 【小休止(深呼吸をする程度)】

⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 【面を外しての休息・給水(3分)】

⇒ 試合の続く限り繰り返す。

5 選手は、鏝競り合いをしない試合を心掛けさせる。やむを得ず鏝競り合いとなった場合はただちに分かれるか引き技を出す。

「鏝競り合いの解消」とは、お互いに間合い（竹刀が交わらない距離）を完全に切る。解消されない場合は審判員が「分かれ」、あるいは状況により「止め」をかける。

6 試合中でも体調不良を感じた「本人」、あるいは競技者の異変を感じた「監督」は、主審に対して試合の中断を申し出ることができる。その場合、状況に応じて面を外し水分補給ができる。

7 突きおよび上段の構え、二刀は禁止する。

8 竹刀

(1) 男女とも114 cm以下とし、先部の直径は、男子25 mm以上、女子24 mm以上でなければならない。また、先革の長さは50 mm以上とする。

(2) ちくとう最小直径は、男子20 mm以上、女子19 mm以上とする。

(3) 重さは、男子440 g以上、女子400 g以上とする。

(4) 化学繊維竹刀の使用は認める。

(5) つるの色は、白・黄・紫のみとする。

(6) 事前に柄革に学校名と氏名を記入し、他の大会の合格シール等はずしておくこと。

(7) 柄革は、滑り止めや模様等のない無地のもので、白とする。

(8) つばの大きさは、直径9 cm以下とし、色は革色のもの（白色も可）を使用する。（絵付きのものは装着の状況による。）

9 剣道着および袴、防具など

(1) 服装は、剣道着および袴を着用し、たれの前に学校名「中」（横）、姓（縦）を黒または紺地に白文字で記入する。剣道着のそで口に学校名以外の名前の刺繍の入っている剣道着の着用は認めない。（関係のないワッペン等の着用も認めない。）

(2) 面ひもの長さは結び目より40 cm以内とする。色は紺色とする。

(3) 面乳革は大きさ、模様を含めて華美にならないように配慮する。色は黒色または紺色とする。

(4) 面金を黒塗りにした面など、通常の配色でない面の使用を禁止する。（通常とは面金前部が銀色、面縁革の色が外側黒、内側朱のもの）

(5) アイガード・ポリカーボネット面は認める。

(6) 選手は試合及び練習において「面マスク」または「マウスシールド」の着用を必須とする。

(7) サポーター等（足袋・テーピング、コルセットを含む）の使用については、医療上必要と認める場合に限り使用を認める。使用する場合は、試合開始までに各審判主任に届け出た上で使用する。

肘や膝などに付ける物を足に使用したり、ゴムや革及びびすべり止めを底に貼った物を使用したりすることは禁止とする。

届け出と違う物を使用した者は、替えさせる。

指先単独のテーピングの届け出は不要とする。

10 外部指導者（コーチ）

監督の資格を有する外部指導者（コーチ）は、監督席に座ったり、試合場付近に立ち寄りすることができる。ただし、監督となる者が、①「怪我」や②「剣道未経験者」等の理由により、剣道の指導ができない場合のみ、学校長が判断し決定する。

剣道 団体 (男子)

第1 試合場

勝ち○…1点、引き分け□…0.5点、負け△…0点

		広見	城南	宇南	三間	得点	勝者数	勝本数	順位
1	広見		—	—	—				
2	城南	—		—	—				
3	宇南	—	—		—				
4	三間	—	—	—					

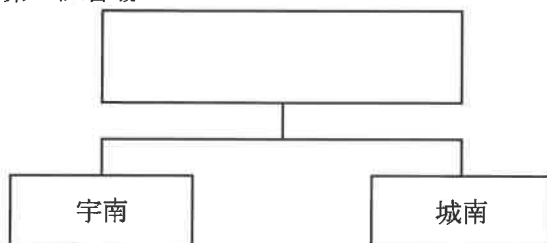
左が赤

第1 試合場

- 1 : 広見 - 城南
- 2 : 宇南 - 三間
- 3 : 広見 - 宇南
- 4 : 城南 - 三間
- 5 : 広見 - 三間
- 6 : 城南 - 宇南

剣道 団体 (女子)

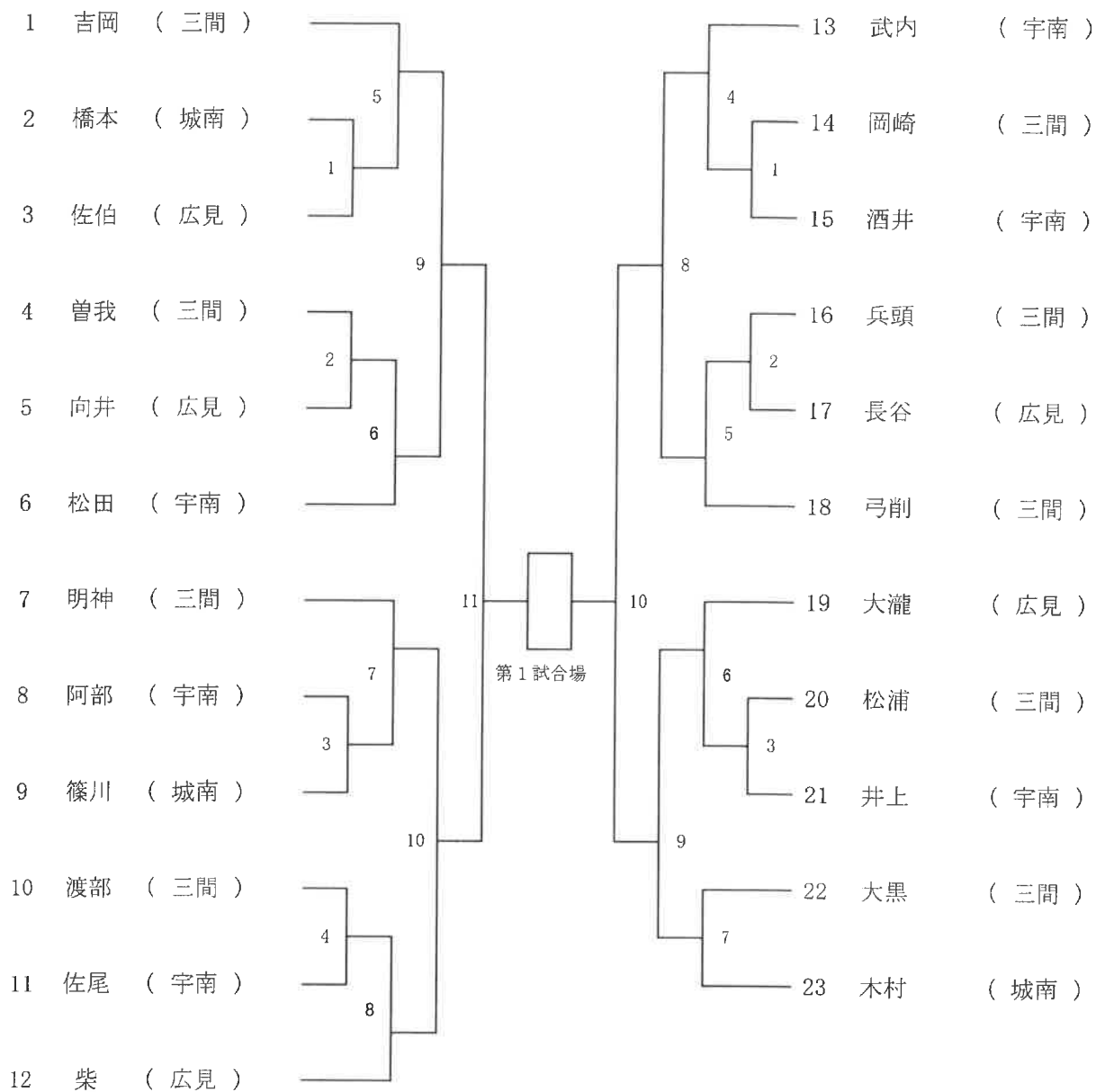
第2 試合場



剣道 個人 (男子)

第1 試合場

第2 試合場

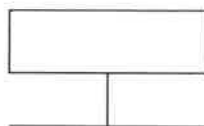


3位決定戦

第1 試合場 11の敗者

()

赤



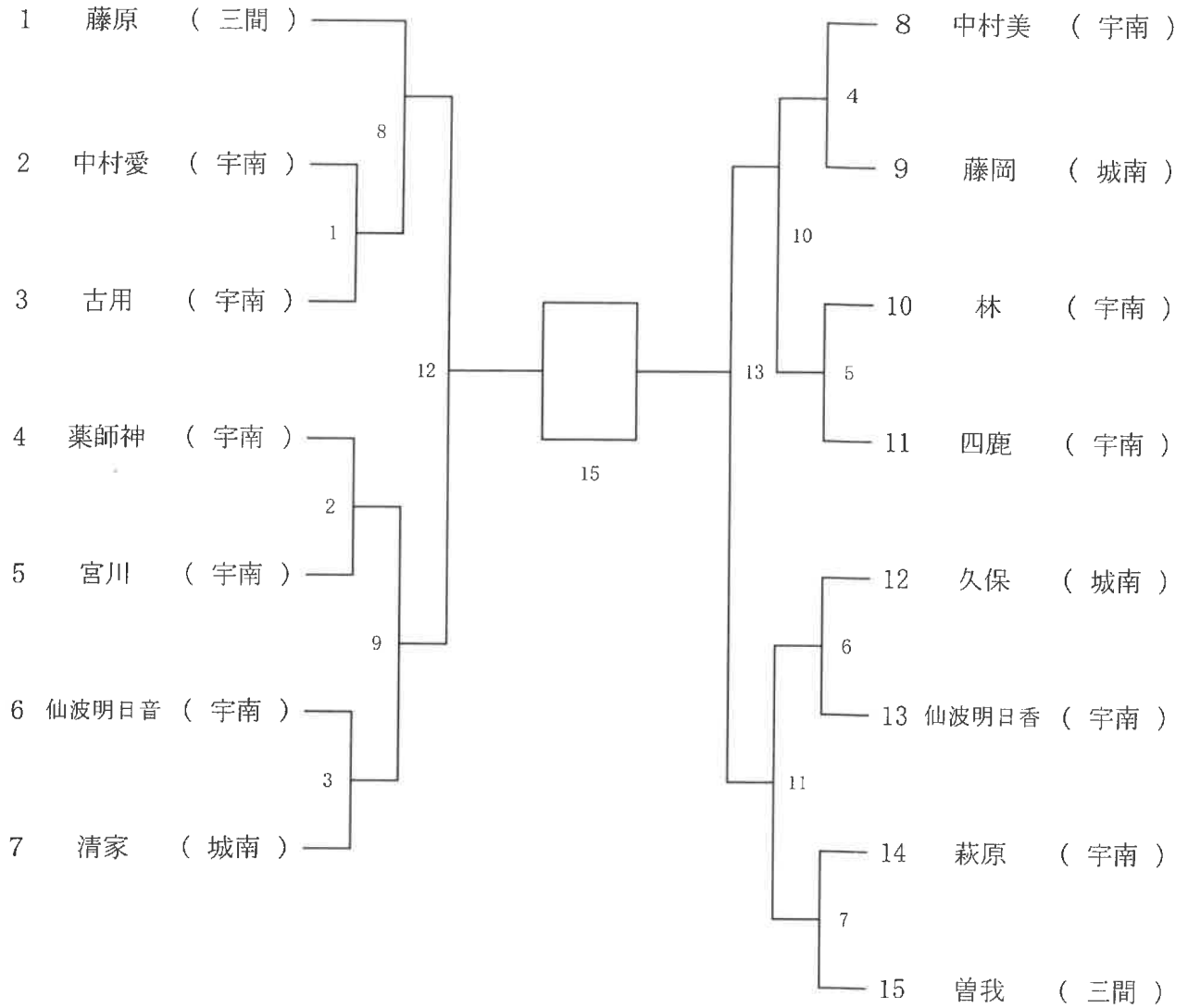
第2 試合場

第2 試合場 10の敗者

()

白

剣道 個人 (女子)
第2試合場



3位決定戦

12の敗者

13の敗者

()

()

14

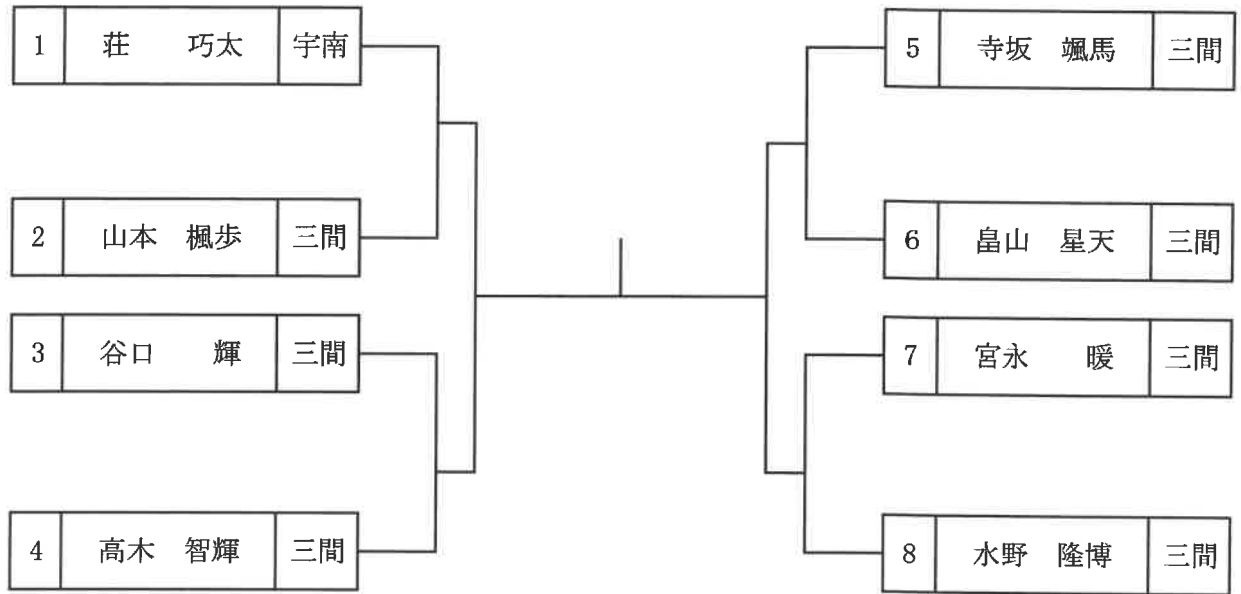
赤

白

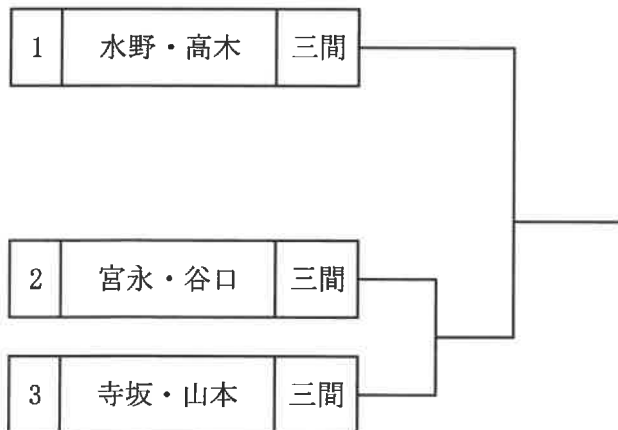
テニ ス

- 競技責任者 清水 充智 (三 間)
 - 会場責任者 清水 充智 (三 間)
 - 審判長 清水 充智 (三 間)
 - 審判員 清岡 幸一 (宇テ連) 高木 克 (宇テ連) 赤松 拓也 (宇テ連)
 - 運営員 清水 充智 (三 間) 谷口 誠崇 (宇 南)
- 参加規程
- 1 団体は、同一校・同一クラブの選手4名以上 10名以内と監督またはコーチ1名で構成する。
 - 2 個人シングルスは、各校12名以内とする。
 - 3 個人ダブルスは、同一校・同一クラブの選手2名で構成し、各団体6ペア以内とする。
- 競技方法
- 1 1セットマッチタイブレイクとする。団体・個人 (シングルス・ダブルス) とも、ノーアドバンテージ方式とする。
 - 2 個人はシングルス、ダブルス共にトーナメントで行う。
- 競技規定
- 1 (公財) 日本テニス協会「テニスルールブック」による。
 - 2 審判は、セルフジャッジを原則とする。
 - 3 試合球は、ダンロップ・オーストラリアンオープンとする。
 - 4 服装は、上下ともテニスウェアとする。(ゼッケン等は必要ない。)
- 競技上の注意事項
- 1 指示があるまでコートには絶対入らないこと。
 - 2 試合前の練習はサービス4本のみとする。
 - 3 団体戦は、勝敗決定後の残りの試合は打ち切りとする。
 - 4 セルフジャッジができない場合は、その時点で失格とする。

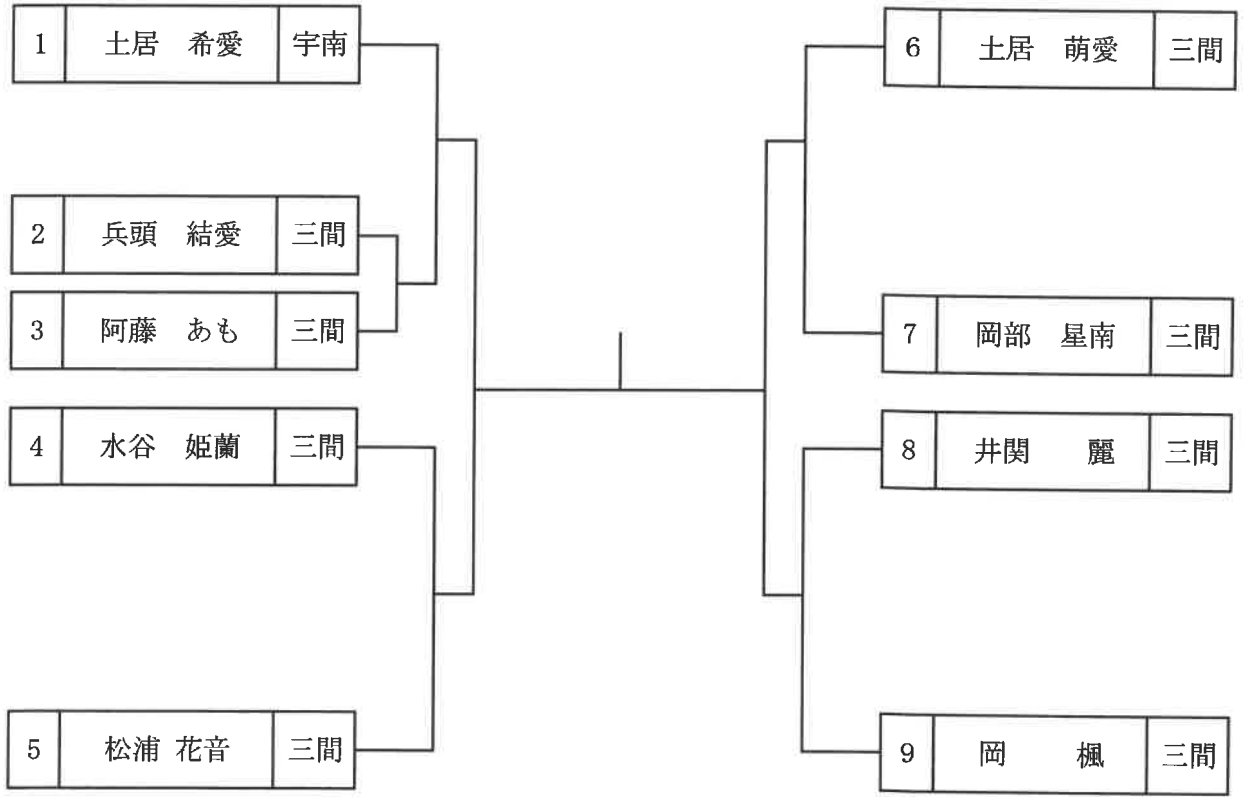
テニス 個人シングルス (男子)



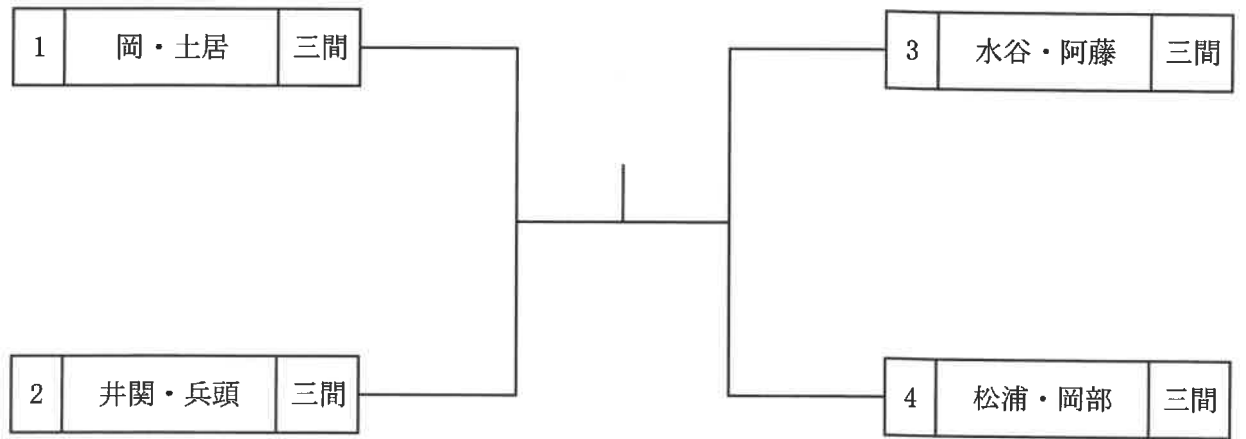
テニス 個人ダブルス (男子)



テニス 個人シングルス (女子)



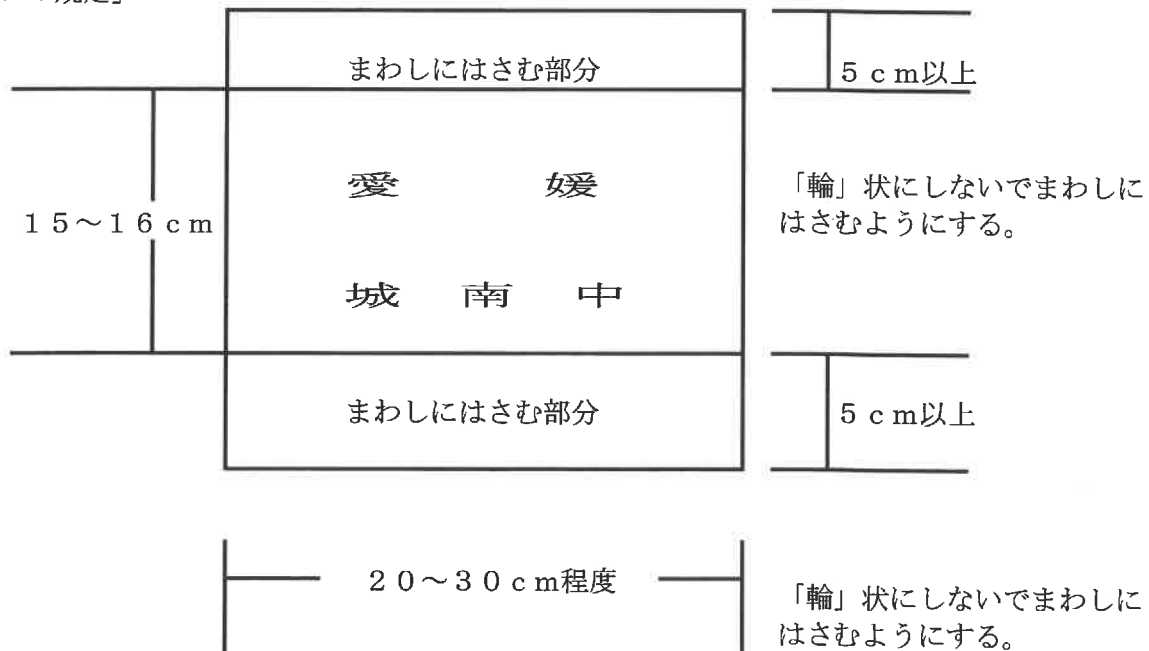
テニス 個人ダブルス (女子)



相 撲

- 競技責任者 井上 省吾 (城南)
- 会場責任者 山本 孝信 (津島)
- 審判長 井上 省吾 (城南)
- 審判員 千崎 岩宏 (市相連) 松下 功次 (市相連) 二宮 丈夫 (市相連)
池田比呂己 (市相連) 木田 和孝 (市相連) 若松 良健 (県相連)
- 補助員 城南中学校生徒
- 競技方法 団体戦はリーグ戦とする。
個人戦は8名以上の場合はゾーンリーグで予選を行い、その後予選通過者によるトーナメント戦を行う。7名以下の場合は総当たりのリーグ戦とする。
- 競技規定
 1. 日本相撲連盟競技会規程及び審判規程並びに審判規程補則による。
 2. 立合 (1) 主審の掛声により立つ。待ったはなし。もし故意に待ったをする場合は審判団協議の上、負けとすることがある。
(2) 双方とも両手をついて立合う。
 3. 方法 (1) 選手は呼出しに応じ土俵に上り徳俵の内側において立札を行い、土俵中央に進みそんきよして、主審の合図により仕切に入る。
(2) 勝名乗は、そんきよで受ける。
 4. 団体戦のチーム編成は自由とする。
 5. 団体戦の順位は、勝敗、勝者数で定める。同点となった場合は決定戦を行い、それでも勝負が決まらなかった場合は、各チーム代表選手による決定戦を行う。
個人戦の順位は、勝敗で定める。リーグ戦で同点となった場合は決定戦を行う。
 6. まわしを着用する。アンダーパンツを着用してよい。アンダーパンツは、学校の体操服 (短パン) の着用を認める。
 7. 声援は認めるが、サイドコーチと認められるものは禁止する。
 8. まわしの前に必ず校名 (ゼッケン) をつける。

[ゼッケンの規定]



※ 字面の太さは、1 cm程度とする。
県名はなくてもよい。

相 撲

【組み合わせ】

○ 団体戦

	城南中学校		-		津島中学校	
先鋒	二宮 壮希				岩森 佑太	先鋒
中堅	兵頭 悠穂					中堅
大将					藤堂 魁人	大将

※ 団体戦の勝敗は、①勝数、②得点の順で順位を決定し、それでも並んだ場合は決定戦を行う。

○ 個人戦

			岩森	二宮	藤堂	兵頭	勝点	順位
1	岩森 佑太	津島						
2	二宮 壮希	城南						
3	藤堂 魁人	津島						
4	兵頭 悠穂	城南						

※ 個人戦は勝敗で決定する。
 なお、リーグ戦の順位は、①勝数、②直接対決の結果の順で決定し、それでも並んだ場合は決定戦を行う。

1	岩森			二宮
2	藤堂			兵頭
3	岩森			藤堂
4	二宮			兵頭
5	二宮			藤堂
6	岩森			兵頭
順1				
順2				
順3				
順4				

第1位

第2位

第3位

第4位

歴代優勝校

競技	バレー		バスケット		卓球		テニス		ソフト	サッカー	柔道		剣道		体操		相撲	テニス	
	男	女	男	女	男	女	男	女	共	共	男	女	男	女	男	女	男	男	女
1	松野	吉田	城東	城東	宇南	城東	城東	城東	城東	城東	津島	津島	広見	城南	城北	津島	津島		
2	松野	吉田	城東	城南	城東	城東	津島	城東	津島	城北	城南	城北	城東	城東	津島	津島	津島		
3	松野	吉田	城東	城東	城北	三間	日吉	城南	宇和海	城北	城南	城北	三間	広見	津島	城北	津島		
4	松野	吉田	城東	城東	吉田	広見	広見	城南	津島	城北	城南	津島	三間	広見	津島	城北	津島		
5	松野	吉田	宇南	城南	城北	広見	城東	三間	三間	城北	城南	城北	三間	宇南		城北	津島		
6	松野	吉田	宇南	城南	津島	津島	日吉	城南	広見	城北	城南	城北	広見	三間		城北	津島		
7	松野	吉田	宇南	城南	城南	広見	日吉	城南	城南	城北	城南	城北	三間	三間		城北	津島		
8	松野	吉田	城東	城東	城東	広見	城南	津島	津島	城北	城北	城北	三間	三間		城北	津島		
9	松野	宇南	城東	城東	城北	津島	日吉	城南	津島	城北	城北	津島	三間	吉田	城北	城北	津島		三間
10	松野	吉田	宇南	城東	津島	広見	日吉	日吉	三間	城北	城南	津島	城北	広見	城北		津島	三間	三間
11	松野	城北	宇南	城東	城南	吉田	日吉	城南	宇南	城北	城南	津島	吉田	三間		城北		三間	三間
12	城東	宇南	城東	城東	津島	城北	日吉	日吉	城南	城北	城南	津島	宇南	三間		城北		三間	三間
13	松野	広見	城東	城東	津島	宇南	日吉	広見	広見	城北	城南	三間	三間	広見		城北		宇南	三間
14	松野	広見	城東	城東	津島	津島	日吉	城南	三間	城北	城南	三間	城北	宇南		城北		三間	三間
15	松野	宇南	城東	城東	宇南	津島	津島	城南	広見		城南	城北	三間	宇南		城北		三間	三間
16	松野	吉田	宇南	城東	城北	津島	広見	日吉	城南		城北	三間	城北	三間				三間	三間

